年報
2008
vol.6

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～



（財）兵庫丹波の森協会
県立丹波の森公苑
県立ささやまの森公園

CONTENTS

もくじ

理事長あいさつ 2
公苑長あいさつ 3
名誉公苑長エッセー 4
森トピックス 5
兵庫丹波の森協会 20 年の歩み 10
活動方針 11

丹波の森公苑

■2008年度事業報告

事業報告 13
講座一覧 38
出前講座の状況 44
活動・施設利用一覧 46
理事会・運営委員会の開催状況 56

■組織及び施設概要

機能 61
沿革 64
施設の概要 65
組織と職員 67

ささやまの森公園

■2008年度事業報告

事業報告 69
プログラム一覧 75
活動・施設利用一覧 80
運営協議会委員名簿 85

■組織及び施設概要

機能 86
沿革 87
施設の概要 88
組織と職員 89

調査研究報告 91

利用案内 94



「丹波の『もりびと』を思う。」

平成20年度は、「丹波の森構想」の策定と「兵庫丹波の森協会」の設立から20年という大きな節目を無事迎えることができました。

これもひとえに、住民の皆様をはじめ関係の皆様の多大なご支援の賜物と心から感謝とお礼を申し上げます。

森協会では、この節目を機に森構想の継承・発展を期して、学識者や住民代表の皆様を中心に公正な目で２０年の歩みを見つめていただき、森構想と森協会の果たしてきた役割や成果、また、残された課題や将来展望など様々な角度から、評価・検証を進めていただきました。

その結果につきましては「丹波の森構想評価・検証報告書」としてまとめていただき、要旨を集約した概要版を丹波地域の全世帯に配布し、周知させていただいたところでございます。

この評価・検証の総括・結晶として「もり（森、守、盛）びとになって、たんばらしさを楽しもう。」との、まさに丹波の森（地域）づくりの原点・哲学に成り得る素晴らしい合言葉が生まれました。

この合言葉の「もりびと」という新鮮な響きに思いを巡らし、

①「森びと」は、自然の恩恵（命をつなぐ食べ物、清らかな水、澄んだ空気、美しい景観、そうした風土から生まれる生業や文化など）に感謝し自然と共に生きる人。

②「守びと」は、恩恵をもたらす自然と、もたらされた恩恵を大切に守り、育み、未来に残そうとする人。

③「盛びと」は、継承してきた自然の恩恵を守りながらも、もう一味の付加価値を付け、生活の場や地域社会の中に活かし発展させる人。

などと、私なりに解釈を加えてみますと、これら三者の「もりびと」が丹波に暮らす人・丹波を訪れる人の心に息づくことそれ自体が「真に丹波を楽しむこと」になるのではないか、また、そうした人々の力の結集が「誰もが楽しめる丹波の創出」につながるのではないか、更には「丹波はそれが実現できるところ」等と、幾重にも期待や夢が膨らんでまいります。

私は、この「もりびと」をいかに将来にわたり持続的に育成できるかが、現在、丹波地域が直面している深刻な過疎・少子・高齢化に内在している丹波の未来を左右する問題を打開する「鍵」になると思っております。

そして、この「鍵」をつくり未来に希望を開くには、時勢や都市部のブームに乗った見栄えの良いパフォーマンスやイベントなどのありきたりの施策ではなく、個々の地域社会（集落・小学校区）における、功を焦らぬ地に着いた「日々の対話」や「人と人・地域と地域・地域と公共的団体や大学、企業等の多様な交流・連携・協働」の推進が肝心であると考えます。

その地道な努力の積み重ねの先に、「桃李言わざれども　下自ずから　蹊を成す」との諺ように、きっと丹波の森に元気な人々の賑わいが甦って来ると確信いたします。

そのためにも、兵庫丹波の森協会は参画・協働を基本理念として、きめ細かく・粘り強く「地域に密着し、地域活動を支援し、地域とともに歩む」姿勢・機能を更に強めながら丹波の森づくりに努めて参る所存でございますので、関係皆様の一層のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成21年９月

財団法人　兵庫丹波の森協会
理事長　　辻　　重 五 郎



「２０年目の新たな出発」

今年の梅雨明けは、例年より大幅に遅れて、８月までずれこみ、かつて経験したことのないような局地的豪雨が、日本各地で甚大な被害をもたらしました。これらは地球温暖化に伴う異常気象の波が、静かに忍び寄ってきている兆しのように思われてなりません。また、地域では、少子化や人口流出に伴う人口減少の傾向が続いています。

このようなあまり明るくない自然・社会状況の中、丹波の森構想が策定されてから 20 年の長きにわたる活動や実績に関しての評価・検証が、昨年度、多くの方々の参画と協働を通じてなされました。この作業の中で、丹波の皆様が邁進された地域づくり、人づくり、産業づくりに関する多くの統計データが収集・分析されましたし、関係者へのヒアリングなどがなされました。これを踏まえて、「丹波の森構想９つの新展開」として提言がなされました。

この中で「もりびとになって、丹波らしさを楽しもう」「丹波の森を『守』って、『盛』んに」のキャッチコピーのもと、「『たんばらしさ』を鍛えるために」以下の９つの新展開の提言が、「20 年目の新たな出発」としてなされています。

１　環境をビジネスにつなげる
２　化石を活かしきる
３　地域力を高め、住みやすくする
４　地域の魅力を伝える
５　景色を守る、新たに創る
６　空いている場所を有効に使う
７　「丹波ブランド」をさらに広げる
８　産業連携で、競争力を強化する
９　都会の人と共に活動する

手前味噌になるかもしれませんが、これだけの素晴らしい実績を上げ、それらを統計データを駆使して評価・検証した地域は、未だ見たことも聞いたこともありません。まさに、丹波の地力といえるのではないでしょうか。

丹波の森構想「 20 年目の新たな出発」に際して、「丹波の森公苑」の存在意義を問い直すことも重要であると思います。「創る」から「使う」時代になってきたといわれていますが、森公苑は、丹波の皆様と共に更に「使い」「育てる」方向性が重要ではないでしょうか。皆様の「集いの場」「活動の場」、そして、「発信の拠点」としての森公苑が、より活性化することを通じて、多様な活動が丹波のみならず、兵庫、日本、世界へと広がり、それが丹波地域のさらなる活性化に繋がることを祈念いたします。

平成２１年９月

兵庫県立丹波の森公苑
公苑長　中瀬　勲



エッセー

「子どものための森つくり」

子どもの体格は、昔に比べると格段によくなった。男子の平均身長は１７０cm である。高校２年というと旧制の中学５年生にあたるが、私は５０人クラスの中で身長は８番目だったから、当時としては高い方に属していたが、今の平均身長にも達しない。女の子もずいぶん立派な体格になった。電車の中で長身の女子高生に見下ろされると、時代の移り変わりをつくづく感じさせられる。

体格の向上は、食生活の充実など豊かな社会の反映として喜ばしいことだが、それに反比例して体力が低下する傾向にあるのは、まことに残念なことである。文部科学省による平成１８年度の体力・運動能力調査では、小１男子の５０m 走、高２男子の持久走は過去最低の記録である。わが兵庫県は全国平均以下という成績で、ちょっぴり悔しい。

それよりももっと気になるのは、こういう話である。高校生に山遊びをさせると、山の斜面をトラバースできない子がいるとか、女子大生の中には、野外実習に連れ出すと、舗装路でないと歩けないと不平を言う学生がいるという。信じられないような話だが、これは運動能力の低下というよりも、生きる力が減衰しているということであろう。こういう現象は、子どもたちが人工環境にどっぷりつからされ、かなり重症の“自然ばなれ症候群”を起こしているということに他ならない。かつては夏休みと言えば、川は子どもたちで賑わい、蝉捕りや虫籠をぶら下げた子どもたちの姿があった。そういう子どもの情景が、まるで魔法にかけられたように消えてしまった。

「今の子どもは！」と嘆く人がいるが、子どもの自然ばなれは子どものせいではない。大人が子どもから自然を奪ってしまったのである。今、大切なことは、子どもに自然を取り戻す努力を、大人が真剣に考え行動することではないだろうか。

丹波の森公苑は、生活創造センターの第１号施設として、CSR 事業によって造られた。入苑者は３００万人を超え、所期の目的を着実に遂行してきたと言える。年報を一覧すればわかるように、生活創造のための実に多彩なプログラムを展開してきた。しかし、その多くは大人、特に高齢者向きのものが多く、子どもへの対応が少なかった。その反省に基づいて、子ども向きのプログラムがいくつか織り込まれるようになったのは、大変喜ばしいことだ。「たんば子ども塾」は、少子化の影響で異年齢間の交流が断絶している中で、高校生が講師になり小学生を教えるという試みは、とてもいいことだ。「縄文塾」は第７回目であるが、「エコキッズクラブ」を吸収して通年行われるようになった。発足当初から指導を頂いている縄文学の権威小山修三、陶芸家宮本ルリ子、藤田京子の３氏の協力によるところが大きく、縄文土器を焼くなど、縄文の心にふれることができ、３氏には深く感謝をしている。

ささやまの森公園でも、「森の学校」が始まり、通年のプログラムが実施された。通年事業は実施が大変だが、効果は非常に顕著である。その他、「トライやる・ウイーク、インターンシップの受け入れ」や「子どもの冒険ひろば事業の支援」などが行われた。この種の事業への協力は、積極的に進めていきたいものである。

ビックリの森とくぬぎの森が育ち、子どもの森ができた。オオムラサキを育てるエノキも大きくなり、３小学校でもオオムラサキの飼育が始まった。新たにエノキ２００本が植えられた。植樹した子どもたちが大きくなる頃には日本一のエノキの森になっているだろう。こうして子どものための森が着々できていくのは、大変頼もしいことだ。森あそびの楽しさを、子どもたちに大いに与えていきたい。

平成 21 年９月

兵庫県立丹波の森公苑
名誉公苑長　河合　雅雄

森トピックス

1．兵庫丹波の森協会設立２０周年記念事業の実施



記念式典の様子

ありがとう　これからも地域とともに

平成２０年度は丹波地域における地域づくりの指針である「丹波の森構想」が策定されてから２０年の節目を迎えるとともに、（財）兵庫丹波の森協会設立２０周年の記念の年となりました。

１１月８日に井戸兵庫県知事を迎え記念式典を盛大に開催するとともに丹波の森構想評価・検証事業の取り組み状況報告とあわせて丹波の森構想評価検証フォーラムを開催しました。

フォーラムでは、河合雅雄名誉公苑長による基調提案や地域住民の代表によるパネルディスカッションを通じて、現在の丹波地域が抱える課題を明らかにし、今後の地域づくりの方向性を提案しました。

また、翌９日には丹波地域の魅力を再発見する多彩なイベントを盛り込んだ「丹波の森フェスティバル」を開催し、苑内では里山ハイキングやフリーマーケットなどのイベント、ホールではシューベルティアーデたんば２００８ファイナルコンサートを開催し、約１２，０００人の来苑者が秋の１日を楽しみました。

2．丹波の森構想評価・検証・提言事業の実施



報告書の表紙

今後の地域づくりの方向性を提言

―もりびとになってたんばらしさを楽しもう―

丹波の森構想の理念がどのように実践されてきたのか評価・検証を行い、その結果を踏まえこれからの丹波地域における地域づくりの方向性を検討していきました。

学識経験者や地域住民、行政関係者を構成員とする評価・検証委員会（委員長：中瀬　勲）やワーキンググループを設置し、時系列による２０年の取り組み概要の整理、丹波の森歴代関係者へのヒアリングや現地調査、アンケート調査等を重ねました。

また、１１月８日、３月１４日には丹波の森構想検証フォーラムを開催し、新しい地域づくりの方向性について多くの市民から貴重な意見をいただき、これらを報告書としてまとめました。

3. 丹波の森公苑の入園者３００万人達成



記念セレモニーの様子

達成記念セレモニーを実施

丹波の森公苑は、豊かな緑の中で、県民の文化・スポーツ・レクリエーション活動を促進するとともに、生涯学習や地域づくり活動等を支援してきました。

平成８年４月の開園以降の累計入園者数は、平成２０年７月２３日に入苑者３００万人に達し、生活創造センターロビーにて記念セレモニーを実施しました。

累計入園者数の推移

平成 10 年	８月	５０万人達成
平成 12 年	９月	１００万人達成
平成 16 年	10 月	２００万人達成
平成 20 年	７月	３００万人達成

4. 通年型自然体験塾「丹波縄文の森塾」の開催


土器焼きに挑戦

子どもの環境学習を促進

丹波の森公苑を中心に、小学生が里山体験を通して自然や環境を学ぶ通年型の塾（２泊３日のキャンプ含む）を開催しました。

小学生３２名が毎月１回里山の探検、縄文土器づくり、火おこし体験、昆虫採取、椎茸づくり、炭焼き体験などの自然体験・生活体験を実施しました。

今年度初めて通年での事業展開となり、塾生も１年間の四季の動植物の観察や様々なことを体験し、他校の友達との交流も深まりました。

5．「丹波の森市民研究員」制度がスタート



制度説明会の様子

新たな人材派遣システムによる地域づくり

丹波地域では校区単位の住民主体のまちづくりが行われております。まちづくりは地域住民や企業が力を合わせて将来の目標に向けて生活改善等を図る取り組みです。

これらの地域での取り組みを支援するため、地域で受け継がれてきた知恵や技術の有効活用を図り、専門知識や技術を持つ住民を「丹波の森市民研究員」として登録し、派遣する制度がスタートしました。

地域の課題や要望を捉え、市民研究員との仲立ちを行うコーディネーターも設置し、地域の創意と工夫によるまちづくりを応援します。

制度説明会や丹波の森地域づくりフォーラムを重ね、現在９３名の登録者が地域からの要望をお待ちしております。

6．第 23 回兵庫県学ぶ高齢者のつどい中央大会の開催



高齢者の主張の様子

県下の学ぶ高齢者が一堂に会す

県内各地の高齢者大学や教室などで学ぶ高齢者約 750 人が集まり、日頃の学習成果の発表や討議、研修を通して学習を深めるとともに、交流の輪を広げました。アトラクションでは芦田保育園の和太鼓と篠山デカンショ節保存会のデカンショ踊りを鑑賞していただきました。丹波ならではの舞台に会場は和やかな雰囲気に包まれました。記念講演では厚生労働省児童健全育成専門官の柳澤邦夫氏が「地域や子どもの育ちを考える～心豊かな高齢者の力を子どもたちへ～」と題し、体験談をもとに話されました。

開催日　平成 20 年 11 月 21 日

会　場　丹波の森公苑ホール

7. 第１回 丹波の森　童謡・唱歌の祭典の開催



参加したコーラスグループ

～親から子、子から孫へ歌いつごう！～

「日本のうた百選」（文化庁選定）の合唱を通じて家族、地域のつながり、ふれあいの大切さを再認識し、確かな地域コミュニティの構築と地域文化の高揚を図っていくため、これまで篠山市を中心に行われきた歌の輪を丹波地域全体に広げ、丹波の森公苑で開催されました。

開催日　　平成 21 年 3 月 1 日
開催場所　　丹波の森公苑ホール

8. 民俗芸能支援活動の成果を情報発信



鱧祭（はもまつり）

民俗芸能ＧＵＩＤＥ ＭＡＰ発行とホームページによる情報発信

「豊かな自然と文化が息づく“たんば”」の一環として民俗芸能を地域の文化資源として再評価し、平成１８年度から３年計画で丹波地域民俗芸能保存・継承支援事業により、その保存・継承に取り組みました。

平成２０年度は、丹波地域の貴重な文化を県民に広く知っていただくため、丹波地域で伝承されている４２の祭礼行事などを掲載した「丹波（篠山市・丹波市）地域民俗芸能ＧＵＩＤＥ ＭＡＰ」を作成し配布するとともに、新たにホームページにおいて記録映像を公開し、丹波の魅力の一つである民俗芸能を広く情報発信しました。

９．ささやまの森公園植物誌の発行



表紙とカラー写真ページ

７００種を超える植物を記録

ささやまの森公園は人工林・雑木林・自然林を含む２５５ｈａの広さの里山を持っています。この公園内に自生する植物を、県立人と自然の博物館の研究員の指導を受けながら、活動スタッフや職員が２年がかりで調査しました。

その結果、自生種７１６種・兵庫県絶滅危惧種１７種を確認し、それらをカラー写真入り９０頁の冊子にしました。

中には地元住民の協力で、昔から利用していた植物やその利用法をまとめたユニークな植物誌が完成しました。

１０．里山に学ぶ「森の学校」が ささやまの森公園で開校



昆虫採集風景

豊かな自然の中で体験活動する「森の学校」を開校

小学校４年生から６年生を対象に、里山体験を通じて自然・環境・動植物を理解してもらうため森の学校を開校しました。

18 人が入学し、名誉校長河合雅雄先生や職員・活動スタッフの講師のもとに、宿泊キャンプを含め年間 12 回の様々なプログラムに挑戦しました。

異なる学校の生徒とも仲良くなり、掴めなかった虫を捕まえられるようになり、山の斜面を走り回るまでに逞しく成長しました。

兵庫丹波の森協会　20年の歩み

昭和63年	丹波の森協会設立（任意団体）（11月）
	丹波の森宣言（９月）、北摂丹波の祭典「ホロンピア８８」（4月～11月）
平成元年	丹波の森構想の策定（3月）
	第１回ウィーンの森親善訪問（～現在）
平成２年	丹波の森協会が財団法人としてスタート
	「丹波の森」啓発モニュメントを各町に設置
平成３年	丹波の森づくり大学（現丹波の森大学）の開設（～現在）
	丹波の植生調査を実施
平成４年	丹波の森写真コンクールの開催（～現在）
平成５年	ウィーン市13区との友好親善提携に調印
	森林文化国際会議を開催し共同宣言採択
平成６年	「丹波の森の草花」ハンドブックを発行
平成７年	丹波の文献目録収集事業を実施
平成８年	丹波の森公苑の管理運営を受託
	丹波の森研究所を開設
	丹波の森基金の設置
平成９年	地域づくり優秀団体として国土庁長官表彰受賞
	丹波のむかしばなし第１集発行（～現在）
平成10年	丹波の森協会設立10周年・ウィーンの森友好親善提携５周年記念事業
平成11年	「丹波の森健康診断」実施
	篠山市誕生（4月）
平成12年	フォンテーヌブローの森（フランス）との友好親善提携
平成13年	まちなみ「ガーデニングコンテスト」開催
平成14年	ささやまの森公園の管理運営を受託
平成15年	「オープンガーデン」及び「オープンガーデンフォーラム」開催
平成16年	全国豆サミットの開催
	丹波市誕生（11月）
平成17年	丹波路広域ツーリズムフォーラム開催
平成18年	財団法人兵庫丹波の森協会に名称変更
	たんば田舎暮らしフォーラムの開催
平成19年	丹波の森研究所篠山分室開設
平成20年	丹波の森協会設立20周年記念式典、丹波の森構想検証フォーラム開催
	丹波の森構想評価・検証委員会を設置し、20年間の事業評価と検証作業を実施

活動方針

■基本方針

財団法人兵庫丹波の森協会は、「丹波の森構想」をみんな（住民・事業者・行政）で推進するため、昭和６３年に設立され、平成２年に財団法人となり、今年で２０周年を迎える。この間、「丹波の森公苑」と「ささやまの森公園」及び「丹波の森研究所」を運営管理するとともに、関連した地域づくり事業を展開している。

平成２０年度は、更なる住民主体の地域づくりを目指し、参画と協働を基本に、関係機関等との連携強化、役割分担を行い、住民の多様なニーズや時代の流れに対応した事業展開並びに施設機能、シンクタンク機能の充実を図る。

特に、今年度は「丹波の森構想」策定２０周年、当協会設立２０周年の節目の年にあたることから、構想の理念がどのように実践されてきたのか、県・市と連携して「丹波の森構想」評価・検証・提言事業などの記念事業を実施し、住民の主体的な活動と交流を促進するとともに、今後の丹波の森づくりの一層の展開を図る。

具体的には、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を目指して、次の３つのテーマを設定し、事業や取り組みを推進する。

また、「丹波の森公苑」では、「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを活かした地域づくりを推進するとともに、利用者に親しまれ、使いやすい、安全安心な施設づくりを進め、施設の利用促進を図る。

「ささやまの森公園」では、自然豊かな里山を活用し、新たに森の学校を開校するなど、多くの人たちと共に多彩なプログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて丹波の森づくりを推進する。

「丹波の森研究所」では、地域に密着した研究所として協力体制を強化し、外部研究機関と連携して調査研究並びに地域活動支援を行い、魅力ある地域づくりを推進する。

■３つの推進テーマ■

●森林文化の創造 ・・・ 人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するため、里山とのふれあい、里山創造活動の展開等“森遊び”の場を確保するなど**森林文化の創造**に取り組む。

●生活創造活動への支援 ・・・ 人々の価値観に基づく多様なライフスタイルを創造するため、人材の育成、実践活動へのアドバイス、生涯学習機会の提供などの**生活創造活動への支援**を行う。

●芸術文化の振興 ・・・ 人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に、また、他地域との交流等を通して、**芸術文化の振興**を図る。

【丹波の森構想】

①自然と共に生きる地域社会の実現

人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。

②潤いと安らぎのある地域社会の実現

素晴しいふるさと景観をかげがいのない共有財産とする共通認識にたって、環境や景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎのある豊かな地域社会の実現をめざします。

③活力のある開かれた地域社会の実現

地域風土を生かし、文化の十字路として、新しい地域文化を創造し活力のある開かれた地域社会の実現をめざします。

■みんなで丹波の森づくり■

丹波地域のすぐれた自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森（地域）づくりを推進するため、次の広域団体が事務局を丹波の森公苑に設置し、（財）兵庫丹波の森協会とともに参画と協働による地域づくりを推進しています。

○こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

丹波地域の各種団体の中間支援組織として各団体と重層的なネットワークを築きながら、連携・協働して“こころ豊かな美しい丹波”の実現を図る。

①実施事業	・研修会、地域団体活動パワーアップ事業 ・県民運動Ｅ－ｎｅｗｓ、情報誌「ネットワーク」丹波頁の発行 ・森のｅ～なかまの利活用促進の啓発

○丹波文化団体協議会

丹波（篠山市・丹波市）地域内の文化団体が相互の緊密な連携のもとに研修を深め、芸術・文化の振興を図り、もって地域文化の向上に寄与する。

①実施事業	・丹波文化活動交流会　　・ふるさとの心うたう丹波音楽祭 ・丹波の森フェスティバル（丹波市茶華道連盟によるお茶席）など
②協賛事業	・丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば ・市民創作オペラ「おさん茂兵衛　丹波歌暦」
③兵庫県地域文化団体協議会関係事業	・地域文化を考えるシンポジウム

○丹波消費者団体連絡協議会

丹波地区の消費者団体相互の連絡を密にし、消費者活動の推進を図る。

①実施事業	・くらしのクリエーター研修、地域別学習会、金融学習会 ・夏の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・冬の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・丹波の森「消費者のつどい」、「おいしいごはんを食べよう県民運動」の推進 ・丹波の食育を推進する「こども料理教室」の開催

○丹波青少年本部

青少年の健全育成にかかる行政・団体等が連帯して、青少年の健全育成活動を強力に推進する。

①実施事業	・ひょうごハート・ブリッジ運動の推進、子どもの冒険ひろば事業の支援 ・若者ゆうゆう広場事業の支援、たんば子ども塾の開催 ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進 ・こころ豊かな人づくり 500 人委員丹波ＯＢ会活動の支援 ・たんば青少年環境浄化啓発活動の支援 ・第１０期こころ豊かな人づくり 500 人委員会の開催

○兵庫県生きがい創造協会丹波支部

丹波（篠山市、丹波市）地域の高齢者大学・講座と連携し、地域のニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発・普及する。

①実施事業	・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会、高齢者学習研究協議会 ・高齢者大学ＯＢ会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業 ・学ぶ高齢者のつどい中央大会への参加 ・兵庫県高齢者学習研究協議会ブロック代表者会議

※他のグループ活動については、丹波の森公苑ホームページの“森のｅ～なかま”をご覧ください。
（ＵＲＬ：http://www.tanba-mori.or.jp/bbs/index.html）

丹波の森公苑　事業報告

2008 年度に実施した丹波の森公苑の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

森林文化（地域づくり）の創造　8

魅力ある地域づくりの推進
豊かな里山づくりの推進
里山とのふれあい事業の推進

- 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援
- ウイーンの森親善訪問事業の実施
- 都市と農村のふれあい交流事業の実施
- 丹波の森フェスティバルの開催
- 丹波の森研究所の活動
- 花づくり研究員活動支援事業の実施
- 里山ボランテイア養成事業の実施
- 丹波の森公苑環境学習推進事業の実施

生活創造活動への支援　14

地域・団体活動への支援
生涯学習の場の提供
くらしの安全安心の推進
明日を担う丹波っ子の育成

- 生活創造活動支援機能充実事業の実施
- 地域づくり活動サポーターによる地域活動支援
- 地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」の開設
- 地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」の開設
- 講座「丹波学」の開設
- 県立大学特別公開講座の開設
- ストップ・ザ・交通事故県民運動の推進
- 消費生活相談の実施
- 消費生活情報の提供
- 「くらしの通信講座」の開設
- 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし（第9集）の編集
- トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ
- 丹波の森こども美術学校の開設
- 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開設

芸術文化の振興　11

舞台芸術鑑賞機会の提供
芸術文化活動の支援
芸術文化団体等活動支援

- シューベルテイアーデたんば2008の開催
- 舞台芸術鑑賞機会の提供
- ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施
- 丹波文化活動交流会の実施
- 丹波合唱講習会の実施
- 丹波の森演劇祭の開催
- 丹波の森アートフェスティバルの開催
- 丹波の森写真展の実施
- おさん茂兵衛改め「恋路の丹波刀旅」の上演
- 丹波の森童謡・唱歌の祭典の開催
- 食文化講座の開設

施設の利用促進　1

丹波地域の情報発信

- 情報誌、年報等の発行

丹波県民局等との連携　11

- 県民交流広場事業の推進（丹波県民局）
- 地域ぐるみ安全対策の推進（丹波県民局）
- 子育て応援ネット事業の実施（丹波県民局）
- 地域団体活動パワーアップ事業の実施（こころ豊かな美しい丹波地域推進会議）
- こころ豊かな人づくり500人委員会の運営（丹波青少年本部）
- たんば子ども塾の開催（丹波青少年本部）
- 子どもの冒険ひろば事業の支援（丹波青少年本部）
- 若者ゆうゆう広場事業の支援（丹波青少年本部）
- 丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進（丹波青少年本部）
- 青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進（丹波青少年本部）
- 高齢者の生きがい創造の推進（兵庫県生きがい創造協会丹波支部）

森林文化（地域づくり）の推進

丹波の森大学（第１８期）の開設及び専科生への研究支援

◇実施内容

丹波の森構想に沿った個性的な地域づくり、それを支える人づくり、環境づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を組み合わせた講座を１１回開催し、その内２回を公開講座として広く市民の参加を呼びかけました。

普通科コース　全11回講座　１４４人受講
7月17日（木）～12月11日（木）
（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

平成２０年度は（財）兵庫丹波の森協会設立２０周年となる記念すべき年にあたり、哲学者梅原猛氏を招聘しての記念講演会と、また、丹波の森構想策定２０年にあたり、「丹波の森構想検証フォーラム」を実施し、今後の地域づくりの方向性を提案しました。

◇21年度の予定

引き続き実施していきます。



公開講座の様子（梅原猛氏）

協会事務局

ウィーンの森親善訪問事業の実施

◇実施内容

「森と自然とふれあいの旅」をテーマに、丹波の森と友好親善提携を結んで１５周年となるウィーンの森を表敬訪問し、旧東ドイツの世界遺産を巡りました。

参加人員　２３人
実施期間　７月３日～７月１０日（８日間）

◇成果（自己評価等）

森づくりに取り組んでおられる方々との交流により、相互の森づくりに向けて一層の推進を図りました。

◇21年度の予定

第１８回ウィーンの森親善訪問を行います。


ウィーン市１３区表敬訪問の様子

協会事務局

都市と農村のふれあい交流事業の実施

◇実施内容

この２年間、大阪、神戸、西宮、宝塚で体験者が語る『田舎暮らしフォーラム』を開催してきましたが、平成２０年度は地元丹波で、受け入れ側を招いた見本市形式のフォーラムを開催しました。

と　き：６月７日

ところ：丹波の森公苑

参加者数：３００人

◇成果（自己評価等）

田舎暮らしに夢を託す移住者の期待と、薄れゆく地域の伝統や暮らしを都市住民との交流で活性化したい地元のニーズをテーマに開催。

丹波市の東芦田集落や篠山市宮ノ前集落、たんばぐみ、篠山市大山振興会、まちともりの生活アトリエネットワーク協議会の取り組みを聞き、意見交換をしながら交流を図りました。



田舎暮らしフォーラムの様子

◇21 年度の予定

地元で田舎暮らし交流フェアを開催

協会事務局

丹波の森フェスティバルの開催

◇実施内容

（財）兵庫丹波の森協会設立２０周年、「丹波の森構想」策定後２０年に当たることから、これまでの歩みを振り返り丹波地域の魅力を再発見するとともに、緑豊かな自然の中で地域や世代を越えた多くの人々の参加により、都市との交流とふれあいの場となる多彩な記念事業を実施しました。

内　容

１１月８日（土）

丹波の森検証フォーラム

１１月９日（日）

ふれあい交流広場

活動発表コーナー、遊びのコーナー

特産市コーナー、フリーマーケット

里山ハイク、お茶席ほか

参加者：約１３，０００人



主幹苑路の様子

◇成果（自己評価等）

都市部や幅広い分野からの参加があり、秋のシンボルイベントとして定着してきました。

◇21 年度の予定

引き続き実施します。

丹波の森フェスティバル実行委員会

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

美しい村づくり活動支援事業

地域づくりや里づくり計画等を進める地域や団体、グループを対象に、丹波の森研究所専門研究員がアドバイザー支援を行い、丹波の森づくりを推進しました。

・篠山市：南新町、古市、味間奥
・丹波市：久下、氷上北、竹田、氷上中央

集落活性化戦略の確立（H18～H20）

丹波地域の集落の実態を調査把握し、そのコミュニティ、暮らし、地域経済等を通して再生・活性化への道筋を示す戦略の策定を行い報告書にまとめました。

「丹波地域集落活性化の道すじ」
　　―新しいふるさとづくりで子どもも大人も生き生き―

篠山市畑地域風景調査の実施

篠山市の進める校区単位のまちづくり協議会の取り組み支援として、畑地域を調査対象にして景観性からみた地域づくりの方向性をまとめた整備計画書の策定を行いました。

ライフツーリズム振興事業の実施

田舎体験の窓口となるホームページ“たびらぼ”の内容充実を図り、旅行業者とも連携しながら農山村ツアーを推進しました。

○“たびらぼ”への入会促進（田舎体験情報）

企業と住民の協働による企業の森づくり事業（丹波県民局からの受託事業）

過疎化・高齢化に伴う地域環境（農地や山林）の荒廃などの課題を解決するために、社会貢献活動に取り組む企業と農山村集落が、「参画と協働」、「長期継続」をキーワードに里山保全活動等を中心とした地域づくりに取り組み、丹波地域の活性化を図っていくためのガイドラインの策定を行いました。



恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業（丹波県民局からの受託事業）

丹波市と篠山両市にまたがる篠山層群では、恐竜化石や最古級の哺乳類化石等、世界的にも希少な化石が発見・発掘され、その調査、保護、活用が期待されており、特に学術、自然学習、環境、景観、ツーリズム、交流等様々な観点からこれらを活用した地域づくりへの展開が必要であるため、地域住民の暮らしの充実とまちづくりの次代を担う人材育成へと導く、戦略的・広域的な推進方策を検討しました。

丹波の森研究所

花づくり研究員活動支援事業「花と緑の教室」「園芸教室」の実施

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

（花と緑の教室）

開催日　毎月原則第２木曜日

受講者　午前・午後の部　計９１人

参加者数　延べ８７６人

（園芸教室）

４回（５月～７月）５２人/１回　延べ２４３人

◇成果（自己評価等）

地域住民の参加希望が多く、年間を通じた活動により、各参加者の花づくりを通じた交流が深まっている。

◇21 年度の予定

引き続き、長期（１年）講座に加え、短期講座を開催するなど、　住民ニーズに沿った展開を図る。



実習の様子

森づくり課

里山ボランティア養成事業の実施

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、森づくりの技法・知識、森を活用したソフト事業のノウハウを習得し、森を守り育てる人材を養成しました。

- 第９期森づくりスタッフ活動
  年間１３回実施　スタッフ数２９人
  森づくり活動アドバイザー２人設置
  学校や団体等の森づくり・環境学習活動を支援
- 里山倶楽部による森づくり活動を支援

◇成果（自己評価等）

本苑の里山を拠点として、多彩なボランテイア活動が展開され、丹波地域外からの参加者も増え、都市との住民交流も深まっている。



里山整備の様子

◇21 年度の予定

新たに第 10 期森づくりスタッフを募集し、一層充実した活動を展開する。

森づくり課

丹波の森公苑環境学習推進事業の実施

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を活かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の環境学習・自然体験活動の支援ボランティアを育成しました。

・丹波縄文の森塾の開設
　年間　１１回（うち１回は２泊３日のキャンプ）
　塾生　３２人（小学３～６年生）延べ３６５人
　　別にキャンプのみ参加者　１６人
・環境体験プログラム
　　メダカの棲む環境調査
　　親水公園を活かした生き物調査
　　春の山菜採取と里山散策
・家族向け環境学習プログラム
　　オオムラサキ観察会
　　里山ふれあいハイキング
　　ビッ栗の森栗拾い体験
・小学校等の環境学習実践講座
・自然体験活動リーダーの育成

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、今年度初めて通年での事業展開となり、塾生も１年間の四季の動植物の観察や様々なことを体験し、他校の友達との交流も深まった。



キャンプ参加者の塾生たち

◇21 年度の予定

丹波縄文の森塾は、引き続き通年開催として実施する。

昨年の反省からキャンプのみの参加者募集は行わない。

環境学習については、積極的に受け入れる。

森づくり課

生活創造活動への支援

生活創造活動支援機能充実事業の実施

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

○生活創造ニュース「たんば.COM」の編集
活動事例紹介と消費者相談コーナー

○生活創造グループ登録と活動支援

登録グループ数　１６１団体

グループ活動コーナーの利用

２４３件　１３６０人

情報発信のための印刷機械の利用件数

２７８件



グループ活動コーナー

◇21 年度の予定

引き続き、団体・グループ活動を支援する。

県民運動課

地域づくり活動サポーターによる地域活動支援

◇実施内容

「こころ豊かな美しい兵庫」をめざす県民運動を積極的に推進するため、活動団体等の民間と公的機関を結ぶパイプ役として活動する地域づくり活動サポーターを設置し、地域づくり活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

地域づくり活動団体やＮＰＯ法人に対して、情報発信や相談・アドバイスなど、様々な支援を行ないました。

また、各地域の公民館担当者とも連携して県・市の施策、活動団体の様子など情報交換を行いました。

◇21 年度の予定

引き続き、地域づくり活動サポーターを設置し、県民運動を支援する



公民館担当者との情報交換の様子

県民運動課

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座
「丹波 OB 大学」の開設

◇実施内容

高齢者の生涯学習の一環として、交流と学習の機会を提供するとともに、魅力ある地域社会を創り出す実践者を育成するため実施しました。

講座　教養講座
専門講座（①健康福祉コース・②地域文化 コース・③生活創造コース）
学外研修、運動会、文化祭、オープン学習、
地域実践の日、学年別研修、地域別研修
クラブ活動（グラウンドゴルフ、 歌謡教室、絵手紙、ダンス、花づくり）

受講者数　２２４人
開講日　5 月 8 日～2 月 18 日（全 17 回）
日　程　9：30～朝の集い
10：30～教養講座など
13：00～専門講座など
14：30～クラブ活動
（詳細は講座一覧に掲載）



学外研修の様子

◇成果（自己評価等）

年々、学年の繋がりが強固なものとなる取り組みを受講生自ら率先して行われているため、充実した学生生活を送られています。

地域社会での活動も積極的に取り組まれている方が増えています。

◇21 年度の予定　5 月 13 日～2 月 24 日

文化振興部

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座
「丹波 OB 大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座「丹波ＯＢ大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講座　１年次（　４人）　講義、課題演習、体験学習
２年次（１８人）　講義、地域実践活動
開講日　5 月 14 日～3 月 11 日
（1 年次 17 回、2 年次 18 回）

◇成果（自己評価等）

２年生は、３グループに別れ、精神障害者支援・老人施設訪問・紙芝居による小学校訪問・地域美化活動等に取り組みました。

４回の実践活動を１回ごとにグループで振り返り、新たな課題を設定して、次の実践活動を行うことで、地域実践活動をより充実させることができました。



地域実践活動（小学校訪問活動）

１年生は、実践活動のための基礎講座をカリキュラムに定着させるとともに、さらに今年度はインターンシップとして体験学習を取り入れ、実践力向上により一層取り組みました。

◇21 年度の予定　6 月 3 日～2 月 24 日

文化振興部

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見などを通じて、伝統文化等を活かした地域づくりに結びついた学習の機会を提供することを目的に、平成２０年度は「もう一度学びたい丹波の城～秘められた城主・人物伝」をテーマに開催いたしました。

講義回数　　５回
参加者数　９３人
（詳細は講座一覧に掲載）



丹波の城をめぐる《現地学習のようす》

◇成果（自己評価等）

城というと天守があるかどうかに関心が集まりますが、城は軍事的な存在でもありました。

今回は、城を単に抜け殻の史跡としてでなく、かつて、城主たちが自らの命を賭け、夢を託した存在として丹波の城を見つめ直すことができました。

◇21 年度の予定

「（続）丹波の城　～篠山城築城４００年～」を学習テーマとして 8～10 月に開催する。

文化振興部

県立大学特別公開講座の開設

◇実施内容

住民の生涯学習の一環として、大学の特色を生かした学習内容を地域にいながらにして学べる公開講座を実施しました。

テーマ　　「丹波の恐竜をめぐって」
講演回数　　全５回
受講生　　４２人（内４１人修了証書授与）
（詳細は講座一覧に掲載）



現地学習の様子

◇成果（自己評価等）

丹波市で発見された恐竜の化石やその地層について学習する中で、日本にもこんな巨大な恐竜がいたという大きな驚きとロマンを与えるとともに、大地は太古の世界を記した巨大な書物であることを実感していただきました。

◇21 年度の予定

特別公開講座を 7 月に実施する。

文化振興部

ストップ･ザ・交通事故県民運動の推進

◇実施内容

交通事故の減少と交通死亡事故の撲滅を図るため、関係機関・団体が連携して、交通事故防止を訴える街頭キャンペーン等の広報や啓発、シートベルト着用率調査等を実施しました。

◇成果（自己評価等）

関係機関と連携した運動の展開により、前年度より交通事故件数、死傷者数とも減少した。

◇21 年度の予定

より効果的な結果が得られるよう、広報・啓発の充実を図る。



春の全国交通安全運動　出発式

県民運動課

消費生活相談の実施

◇実施内容

商品やサービスに関するトラブルをはじめ食に関する相談など、くらしに関する様々な問い合わせに対して、生活情報活動アドバイザーが相談を実施しました。

相談受付　　火曜日～日曜日
９時～17 時 30 分
（月曜日と年末・年始は休み）

◇成果（自己評価等）

平成 20 年度の相談受付件数は６０１件（うち苦情件数は５０７件）で、前年度と比較すると、２７２件（△31.2%）減少した。これはセミナーや出前講座など消費者にさまざまなトラブルについて周知し未然防止につながったためと思われる。しかし、架空請求などのトラブルは依然として後を絶たない。

◇21 年度の予定

引き続き相談を実施する。（土、日は予約相談のみ）



相談や問い合わせに応じている様子

相談担当

消費生活情報の提供

◇実施内容

消費トラブルの未然防止を図るための相談情報、関係法の解説、消費者団体の動向、講座案内などのオリジナル情報の提供を行いました。

・「消費生活相談」
　毎月１５日　１，３００部発行
　市町・警察・マスコミなどに配布
・「情報活動にゅーす」
　隔月（偶数月）の１日２，３００部発行

◇成果（自己評価等）

相談情報が新聞記事になるケースや市町・団体の広報紙に掲載され、消費者被害の防止につながった。なお、出前講座も４１回実施しました。

◇21 年度の予定

情報紙の発行時期を見直す。
出前講座を引き続き実施する。



情報誌「消費生活相談」・「情報活動にゅーす」、配布物

相談担当

生活創造活動支援事業

「くらしの通信講座」の開設

◇実施内容

９月～２月の間、「裁判員制度って何」、「悪質商法の手口と対策」、「食の安全～しっていますか？食品添加物～」、「金融商品を考える～くらしのリスクプラン～」、「終の棲家を考える～高齢者住宅の種類と選び方～」に関するテキストを５回送付し、それぞれの課題への解答を求めるとともに、スクーリングとして講演会「解決できます！悪徳商法のこんなトラブル（講師　西脇法律事務所　矢野耕司弁護士）」を実施しました。

◇成果（自己評価等）

いろいろな内容を気軽に自宅で学習する講座として、募集人員１００人に対して６９人が受講し５１人が修了しました。

◇21 年度の予定

５回のテキスト送付と１回のスクーリングを行い、最後にスクーリングを実施する



「くらしの通信講座」スクーリング

相談担当

丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし（第九集）の編集

◇実施内容

丹波の子ども達が心豊かに育ってほしいという願いから、丹波に伝わるむかしばなしを刊行するため、編集委員会を設置し、篠山市７話、丹波市９話の計１６話を第九集として発行しました。

発行部数　２，０００部

◇成果（自己評価等）

むかしばなしの素晴らしさが地域に浸透し、子どもたちばかりでなく、あらゆる世代に親しまれています。

◇21 年度の予定

引き続き「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし（第１０集）を編集し、発行します。



第九集の表紙

協会事務局

トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ

◇実施内容

職業体験の場の提供を通して、森公苑をよりよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設利用促進を図る機会として実施しました。

○トライやる・ウィーク２００８（中学生）

受入人数　８人(柏原、和田、山南中学校)

受入期間　６月３日～７日

体験内容　丹波の森公苑の利用促進を図る活動（巣箱、シューベルティアーデＰＲちらしづくり、環境整備等）

○インターンシップ２００８（高校生）

受入人数　４人（篠山産業高等学校）

受入期間　11 月 11 日～14 日

体験内容　丹波の森公苑の利用増進を図る活動（森公苑施設マップの作製、環境整備等）



巣箱づくりの様子（トライやる・ウィーク）

◇成果（自己評価等）

丹波の森公苑をよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設の魅力を提案してもらう場とすることができました。

◇21 年度の予定

受け入れを継続し、様々な体験活動を提供する。

企画・調査課

丹波の森こども美術学校の開設

◇実施内容

芸術家を志す人に「創作の場」を提供し、次代を担う芸術家を育む。また、子ども達が造形の楽しさを体験することを通して豊かな感性を育み、健全な青少年の育成に資することを目的として実施しました。

①丹波の森子ども美術クラブ

「マーブリングで絵本を作ろう！
～ふしぎな模様のたんばの森～」

開催日　　8月27日、8月28日
開催回数　4回（2コース、2日間）
参加者　　小学１年生～６年生　６２人

②アトリエアーティスト

国吉　晶子（抽象画家）
滞在期間　8月24日～9月7日
滞在場所　アトリエ彫刻棟

◇成果（自己評価等）

アーティストの専門性を生かしたマーブリングと創作指導で、子ども達は基礎的知識と発想力を身につけ感性を伸ばしました。また、高校生を含む２３人のボランティアスタッフの支援によって、子ども達が安全に創作を楽しむとともに地域交流の場にもなりました。



美術クラブの様子

◇21年度の予定

丹波の森子ども美術クラブ
8月21日、22日、25日（2コース・3日間）
アトリエアーティスト
井上　奈奈（現代アート作家）
（8月９日～25日　滞在）

文化振興部

丹波の森子どもミュージカル体験塾（第７期）の開設

◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験の機会を提供することにより、豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため実施しました。

参加者　　４７人
レッスン　7月26日～10月24日(11回)
発表公演　10月25日　「フランダースの犬」
（「劇団フジ」の俳優との共演）
（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

オーディションでは、緊張しつつも、一生懸命に課題に取り組む姿が印象的でした。定員を大きく超える応募者があり、ミュージカルをはじめ、舞台芸術に対する子どもたちの関心がより高まっていることが感じられました。



劇団員と記念撮影

◇21年度の予定

レッスン　７／２５～１０／２３（７回）
発表公演　１０／２４　「クリスマスキャロル」
（「劇団フジ」の俳優との共演）

文化振興部

芸術文化の振興

シューベルテイアーデたんば２００８の開催

◇実施内容

海外文化に触れ、その中で丹波地域のすばらしさを再発見するために、オランダからピアニストのパブロ・エスカンデ氏をフランツとして迎え、丹波風にアレンジされた新感覚のクラシックが披露されました。住民参加型の街角コンサート、児童・生徒が生のクラシック音楽を体感するキン・コン・カン・コンサートも盛況のうちに実施することができました。都市部との交流を目指し、特別列車シューベルティアーデ号と神戸からの交流バスも運行しました。往復の列車内にも楽しい歌声が響くなど、音楽を通したつながりがたくさん生まれました。

◇成果（自己評価等）

２ケ月間にわたり、約７，０００人の参加を得ました。鑑賞のみならず、企画・運営に各街角部会を中心とした地元住民に活躍をいただけました。



コンサートの様子

◇21 年度の予定

９月５日（土）オープニングコンサート
お菓子の里丹波ミオール館
11月23日（祝・月）ファイナルコンサート
丹波の森公苑ホール
街角コンサート　９カ所で実施
キン・コン・カン・コンサート　１３校で実施

文化振興部

舞台芸術鑑賞機会の提供

音楽座ミュージカル「リトルプリンス」

◇実施内容

演劇や音楽などの質の高い公演を定期的に自主企画をして、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、ミュージカル公演を実施しました。

音楽座ミュージカル「リトルプリンス」
開 催 日　　６月２８日　（土）
会　　場　　丹波の森公苑ホール
入場者数　　２８４人

◇成果（自己評価等）

家族での参加が多く、親子で楽しめる舞台芸術を提供することができました。当苑実施の「子どもミュージカル」参加者のニーズにも応えることができました。



ミュージカル公演の様子

◇21 年度の予定

芸術文化センター管弦楽団特別演奏会
春休みファミリーコンサート
開催日　平成２２年３月２０日
会　場　丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施

（第３６回篠山・丹波合唱祭）

◇実施内容

丹波地域で活動している音楽活動団体に対し、公演の場と交流の機会を提供し、活動団体の育成と芸術文化活動の向上発展を図りました。

開催日　　１１月３０日（日）
会　場　　たんば田園交響ホール
内　容　　丹波地域 27 団体による合唱祭
参加者　　１，２００人（出演者含む）



発表公演の様子

◇成果（自己評価等）

３６回目を迎え、秋の恒例行事として定着しました。丹波地域で活動している音楽団体が一堂に会することにより、モチベーションを維持し、世代を越えた暖かい交流を育むことができました。

◇21 年度の予定

開催日　１１月１５日（日）
会　場　丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

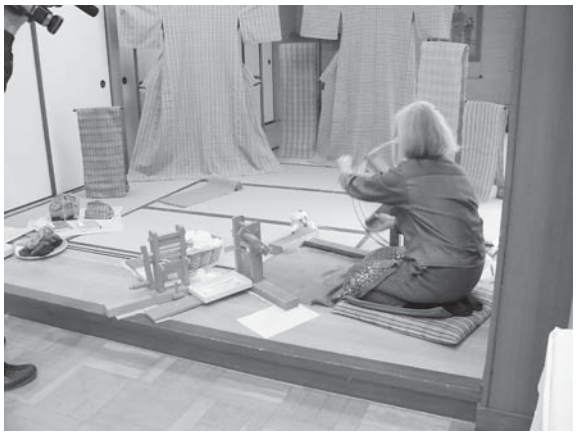
丹波文化活動交流会の実施

◇実施内容

丹波文化団体協議会会員を中心とする作品展示及び公演

●開催日：平成 20 年 12 月 5 日～12 月 7 日
●会　場：丹波の森公苑

①創作展示の部：書、絵画、水墨画、丹波布、川柳、盆栽、生花、彫刻、丹波の文化財情報
作品数：152 点
②創作展示部門体験・実演・解説コーナー
③公演の部：日本舞踊、民謡、謡曲、詩吟
尺八、吹奏楽、歌唱など 24 団体
●　参加人数：のべ７００人



実演：丹波布糸つむぎ

◇成果（自己評価等）

丹波地域で特色のある文化活動の発掘と発表・交流の場を提供するとともに、文化活動の裾野の拡大と地域文化の活性化を図ることができました。

◇21 年度の予定

12月４日（金）～６日（日）

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

丹波合唱講習会の実施

◇実施内容

丹波地域の合唱愛好家の育成と資質の向上を図るため、合唱法及び日々の練習方法等について研修を深めました。

開催日：平成 21 年３月 15 日（日）
会　場：丹波の森公苑多目的ルーム
内　容：合唱法、練習方法等の研修
参加者：２００人



合唱講習会の様子

◇成果（自己評価等）

丹波地域の 16 団体の合唱サークルのメンバーや愛好者が多数参加し、合唱法及び日々の練習法等について学びました。なごやかな雰囲気の中にも高度な技術を学ぶことができました。

◇21 年度の予定

平成 22 年３月 14 日（日）

文化振興部

丹波の森演劇祭の開催

◇実施内容

地域住民の演劇に対する理解と関心を高めるとともに、演劇を通して感動と共感の輪を広げ地域交流を図るため開催しました。

開催日：11 月 29 日（土）・30 日（日）
会　場：丹波の森公苑ホール
出　演：劇研 椎の実
　　演劇塾くろまめ
　　劇団 水彩パルチザン
　　劇団 SEAV
　　篠山演劇サークル 花いちもんめ
参加者　　１，０４９人



篠山演劇サークル花いちもんめの上演１コマ

◇成果（自己評価等）

近隣地域の５劇団が一堂に会し、各劇団がそれぞれの持ち味を存分に発揮した創作劇を披露するとともに、劇団相互の協力で舞台を運営しました。

◇21 年度の予定

11 月 29 日（土）
劇研　椎の実
劇団　水彩パルチザン
劇団　シーブ　　以上３劇団出演予定

文化振興部

丹波の森アートフェスティバルの開催

（丹波の森美術展、丹波の森新春書き初め展、兵庫県文化賞受賞者小品展、展示ギャラリー）

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を一堂に展示するとともに、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図るため開催しました。

○丹波の森美術展
（日本画、洋画、彫刻・彫塑の部）
開催日　　5月1日～5月6日
出展数　　67点　　入場者数　505人

○丹波の森美術展（工芸、写真、書の部）
開催日　　9月17日～9月21日
出展数　　95点　　入場者数　483人

○2008兵庫県文化賞受賞者小品展
開催日　　9月26日～28日
出展数　　38点　　入場者数　110人

○第32回丹波の森新春書き初め展
開催日　　1月16日～18日
会場　　丹波の森公苑
出展数　　781点　入場者数　1,600人
開催日　　2月6日～8日
会場　　篠山市立中央図書館
出展数　　341点　入場者数　2,333人

○展示ギャラリー
利用随時（利用日数　216日、利用率　69.5%）



丹波の森美術展

◇成果（自己評価等）

丹波の森美術展は今年度で38回目となるが、作品数はやや増加し、審査員からは大作が多く見ごたえがあるとの講評を得た。

展示ギャラリーは、利用率が増加し幅広い分野の作品展示で賑わいました。

◇21年度の予定

丹波の森美術展(春)　5月1日～5月6日
丹波の森美術展(秋)　9月22日～27日
2009兵庫県文化賞受賞者小品展
10月30日～11月1日
第33回丹波の森新春書き初め展
1月中旬～2月上旬

文化振興部

丹波の森写真展の実施

◇実施内容

丹波のよさを知ってもらうため、今年度は「丹波の森～癒しの風景」をテーマに作品募集を行い、写真展と表彰式を行いました。

①応募者数、点数：５８人、１１９点
②写真展：４月24日～５月６日　丹波の森公苑
５月12日～５月20日　篠山市民ｾﾝﾀｰ

◇成果（自己評価等）

デジタルカメラによる写真撮影も可能にしたため、応募者も多く、又関西一円から応募があった。

丹波の森公苑と篠山市民センターで写真展を開催し、多くの方々に鑑賞いただきました。



最優秀賞「雲海に浮かぶまちあかり」

◇21年度の予定

「丹波の森の生き物（動植物）をテーマに作品を募集し、写真展と表彰を行います。

協会事務局

おさん茂兵衛改め「恋路の丹波刀旅」の上演



◇実施内容

「おさん茂兵衛」の物語をとおして、丹波の人と文化と自然を全国へ発信するために、平成１４年度から創作・上演活動を行っている“おさん茂兵衛 DE　丹波実行委員会”が、今年は篠山出身の講談師旭堂南左衛門さん他により、創作講談と音楽がコラボレートした新感覚の「おさん茂兵衛」を上演しました。

開催日：平成 21 年 3 月 22 日

会　場：丹波の森公苑ホール

出　演：旭堂南左衛門（講談）

井本英子（ピアノ）ほか

参加者：400 人

◇21 年度の予定

“おさん茂兵衛がつなぐ縁”直木賞作家北原亞以子氏の「誘惑」（おさん茂兵衛の本）出版記念会開催

開催日：７月 25 日（土）

会　場：丹波市山南公民館

文化振興部

食文化講座の開設

◇実施内容

人と自然と文化の調和した地域づくりをめざす「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、多彩な地域資源を有する丹波地域を中心とする食文化の再発見などを通じて主体的な地域づくりに結びついた学習機会を提供しました。

（受講者数　４３人）

（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

今年度より丹波の森食文化講座実行委員会の自主運営により実施しました。実行委員はもちろんのこと、受講生にとっても満足のいく講座であったとの感想をいただきました。今後も同様の講座を実施、充実できるよう支援していく必要があります。

◇21 年度の予定

引き続き実行委員会の企画運営による「食文化講座」を開設。8 月から 12 月の 6 回講座で、食といのち（健康）について考えます。



第４回精進料理の心　自然を戴く

文化振興部

施設の利用促進

情報誌・年報等の発行

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、生活創造・地域づくり活動等の地域情報を、「年報」、情報誌「丹波の森」やインターネットのホームページで発信しました。

・「年報２００７」の発行　1,000 部
・情報誌「丹波の森」の発行
　年２回（９月、３月：44,000 部（丹波市、篠山市全戸配布）
・ホームページによる情報発信（毎月更新）
　アクセス件数　25,956 件（平成 20 年度）

◇成果（自己評価等）

情報誌やＨＰを通じて森公苑や地域情報を幅広く発信することができました。

◇21 年度の予定

紙面やＨＰの見やすさ、利用しやすさを検討し幅広い層の利用を図る。



ホームページ画面ＵＲＬ　http://www.tanba-mori.or.jp/

企画・調査課

丹波県民局等との連携

県民交流広場事業の推進

◇実施内容

小学校区単位のコミュニティとして、みんなが訪れ、集う空間としての「場」の整備と、子育て、防犯、環境、文化、まちづくり等多彩な「活動」を支援するため実施しました。

平成 20 年度事業実施地区　　６地区（新規採択）

篠山市内３地区

（城南地区まちづくり協議会ほか２団体）

丹波市内３地区

（佐治地域自治協議会ほか２団体）

◇成果（自己評価等）

各地域における活動拠点が整備され、子育て支援、防犯、防災など多彩な活動を通して、地域の活性化と世代間交流が促進されました。

◇21 年度の予定

平成 18 年度から本格実施となり、平成 22 年度までの間事業実施校区を募集する。



佐治地域自治協議会「佐治来楽館」完成

地域協働課（県民局）

地域ぐるみ安全対策の推進

◇実施内容

安全・安心の地域づくりをめざして、住民による自主的な防犯活動を展開する「まちづくり防犯グループ」の立ち上げや運営を支援しました。

◇成果（自己評価等）

子どもの見守りや、地域パトロールなど活発な防犯活動が展開され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という機運が高まっている。

◇21 年度の予定

引き続き防犯グループの結成を促進し、運営経費の助成、研修会の開催等により、活動の継続と広がりを支援する。



青色回転灯をつけたパトロール車による防犯活動

地域協働課（県民局）

子育て応援ネット事業の実施

◇実施内容

篠山市及び丹波市の子育て支援連絡会の支援、県が委嘱している子育て家庭応援推進員の研修などにより、子育て家庭を応援する活動を地域に定着させました。

◇成果（自己評価等）

子育て家庭応援推進員を対象とした研修会の実施や両市との連携により、日常的な声かけや、子育て家庭のＳＯＳを見逃さずキャッチする見守り活動が継続されました。

◇21 年度の予定

両市との連携、子育て家庭応援推進員の研修等を引き続き実施し、活動を継続化し定着を図る。



朗読劇の様子

県民運動課（県民局）

地域団体活動パワーアップ事業の実施

◇実施内容

地域団体の活性化や魅力ある丹波づくりに向けて、各地域団体が共同利益の実現を目的として主体的に取り組む諸活動に対し、事業経費の一部を助成しました。

助成団体：２９団体

助成額：５８８万円

◇成果（自己評価等）

事業を通して、交流のなかった地域団体が出会い、連携し、事業を実施することにより新しいネットワークができた等、との高い評価を得ている。

◇21 年度の予定

引き続き実施する。



南濠端竹林整備事業　～プランターづくり～
（篠山市南新町美しいまちづくりの会）

こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

第１０期

こころ豊かな人づくり 500 人委員会の運営

◇実施内容

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、青少年育成活動や地域づくり活動に関して、主体的・能動的に参画する地域の担い手を養成するため、各種学習、実践の場を提供しました。　（1 期 2 年）。（詳細は講座一覧に掲載）

○全県セミナー　（年 2 単位）
○ブロック別カリキュラム　（年 8 単位）
　専門セミナー　（年 4 単位）
　実践セミナー　（年 4 単位）
○自主グループ研修　（年間随時）



第 10 期 500 人委員会全県セミナー（修了式）

◇成果（自己評価等）

第 10 期 500 人委員会の２年目を継続開設し、３１人の委員が修了した。

第 10 期自主グループは「青少年育成」、「野外活動・レクリエーション」、「男女共同参画・人権」、「自然・環境」、「ボランティア・福祉」の各グループが編成され、年間を通じて積極的な自主研修の場が持たれた。

◇21 年度の予定

第 11 期こころ豊かな人づくり 500 人委員会

前期の 1 年間のセミナーを開催予定

丹波青少年本部

たんば子ども塾の開催

◇実施内容

丹波地域の７県立高校の生徒が講師となり、小学校の児童を対象に各校の特色を生かした講座を実施しました。

協力校　篠山鳳鳴高、篠山産業高、
　　篠山産業高東雲校・丹南校
　　柏原高、氷上高、氷上西高
内容　　科学実験、生物観察、機械工作、
　　調理実習、国際理解など
　　（詳細は講座一覧に掲載）
受講生　３５人



重曹パワー!!（県立柏原高等学校）

◇成果（自己評価等）

講師の高校生及び参加の小学生共に、豊かな感性と自立心を育む場として賑やかな交流活動として実施することができました。保護者からも高い評価が得られており、人気の講座となっている。

◇21 年度の予定

引き続き、丹波地域の７県立高校で実施する。

丹波青少年本部

子どもの冒険ひろば事業の支援

◇実施内容

子どもたちが旺盛な好奇心やエネルギーを発散させ、自分の責任で自由に遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援しました。

・「たんばっ子ひろば」
　実施団体：ナルク丹波
　活動場所：大沢一号公園、里山ごんげんさん、丹波の森公苑ほか



「たんばっ子ひろば」
（丹波市　里山・ごんげんさん）

◇成果（自己評価等）

プレイリーダーの見守りのもと、子どもたちの体験活動の機会を広げるとともに、異世代との交流を深めることができました。

◇21 年度の予定

県青少年本部事業として引き続き開設を支援する。

丹波青少年本部

若者ゆうゆう広場事業の支援

◇実施内容

中・高校生を対象に、気軽に立ち寄り集まった仲間と楽しく交流できる「若者ゆうゆう広場」の設置を支援しました。

・「ゆうゆうかすが」（実施主体：丹波市社会福祉協議会）
・「ゆうゆうささやま」（実施主体：市民センター協議会）



「ゆうゆうささやま」

◇成果（自己評価等）

中・高校生が学校帰りなどに立ち寄り、ゆったりのんびりと好きなことをして過ごす「たまり場活動」やダンスなどの「サークル活動」により若者の自主的な活動の輪が広がりました。

◇21 年度の予定

引き続き、開設を支援する。

丹波青少年本部

丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進

◇実施内容

青少年のマナーアップを図るため、啓発資料を活用し、各種会議・イベント等で啓発するほか、青少年育成関係者を対象に、「インターネットの安全安心利用と青少年の健全育成を考える研修会」（10 月 23 日、参加者５９人）を開催しました。



インターネットの安全安心利用と青少年の健全育成を考える研修会

◇成果（自己評価等）

インターネット上の有害情報の氾濫や携帯電話に関わるさまざまな問題点について関係機関における情報交換を行うと共に、その対策を学ぶ機会となった。

◇21 年度の予定

「現代的な青少年をめぐる諸問題」をテーマに実施する。

丹波青少年本部

青少年を守り育てる
県民スクラム運動の推進

◇実施内容

青少年愛護活動推進員等の設置、「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」の開催（７月 25 日、参加者２８人）、地域環境の整備及び啓発活動の展開等を行いました。



青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議

◇成果（自己評価等）

青少年に関わりのある業界、団体、機関と連携し、青少年の健全育成に対する住民の意識の高揚と大人の規範意識の醸成、社会環境浄化等を推進することができました。

◇21 年度の予定

引き続き、業界、団体、関係機関の連携を強化し、青少年の健全育成を推進する。

丹波青少年本部

高齢者の生きがい創造推進

◇実施内容

（財）兵庫県生きがい創造協会丹波支部と篠山市、丹波市の高齢者大学・講座、兵庫県地域高齢者大学「丹波ＯＢ大学」が連携し、地域ニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発、普及しました。

- 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の実施
- 高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議の開催
- 高齢者大学ＯＢ会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業の実施

◇成果（自己評価等）

学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会では、丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深めることができました。

広場デビュー支援事業では、丹波ＯＢ大学関係者が地域においてさまざまな活動に参画できるよう支援することができました。



学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会 創作作品展

◇21 年度の予定

引き続き（財）兵庫県生きがい創造協会と連携し、高齢者の健康と生きがいの創造を推進する。

生きがい創造協会丹波支部

講座一覧

丹波の森大学（第１８期）

回	開催日	テーマ・内容	講　師（敬称略）
1	7月17日	【開講式】 持続可能な地域づくり	兵庫県立大学教授・丹波の森公苑長　中瀬　勲
2	7月31日	丹波の恐竜と中生代の世界	兵庫県立大学准教授・人と自然の博物館研究員　三枝　春生
3	8月21日	生涯現役のための面白健康科学	京都大学教授　森谷　敏夫
4	9月4日	どこかの星の平和憲法（顛末記）	兵庫県立南但馬自然学校長　森本　雅樹
5	9月25日	東西森林文化の系譜	山形大学名誉教授　北村　昌美
6	10月9日	ライフスタイルの変化と人づくり・地域づくり	サントリー（株）次世代研究所部長　佐藤友美子
7	10月16日	現地研修（奈良市）　奈良町の保全と再生	（社）奈良まちづくりセンター
8	10月29日	太陽と森の神	哲学者　梅原　猛
9	11月8日	「丹波の森構想」検証フォーラム	
10	11月20日	照葉樹林文化とナラ林文化ー東アジアの2つの森の文化と日本人ー	国立民族学博物館名誉教授　佐々木　高明
11	12月11日	人類はどこから来て　どこへ行くのか 「閉講式」	京都大学名誉教授 丹波の森大学学長　河合雅雄

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月10日	実習①　春の草花の寄せ植え	坂本　正秀
2	5月15日	実習②　ハンギングバスケットを使った寄せ植え	坂本　正秀
3	6月12日	実習③　食虫植物の寄せ植え	桐村　義孝
4	7月10日	実習④　多肉植物の寄せ植え	桐村　義孝
5	8月12日	実習⑤　観葉植物の寄せ植え	坂本　正秀
6	9月18日	実習⑥　セダム類を使った寄せ植え	桐村　義孝
7	10月9日	実習⑦　秋の植物を使った寄せ植え	坂本　正秀
8	11月13日	実習⑧　クリスマスの洋花の寄せ植え	桐村　義孝
9	12月11日	実習⑨　松竹梅の寄せ植え	桐村　義孝
10	1月14日	実習⑩　プリムラ類を使った寄せ植え	坂本　正秀
11	2月12日	実習⑪　イワタバコ科の苔玉づくり	坂本　正秀
12	3月12日	実習⑫　春の玄関を飾る寄せ植え	桐村　義孝

丹波の森園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月6日	【開講式】　オリエンテーション 講義　園芸の基礎知識「宿根草を美しく咲かせる工夫」	但馬高原植物園　植栽主任 田丸　和美 （ガーデンマイスター）
2	5月27日	実習　寄せ植え実習「コンテストに出展してみよう」	
3	6月17日	現地学習会「但馬高原植物園」	
4	7月8日	講義　園芸の基礎知識「夏のガーデン管理」	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月24日	【開塾式・オリエンテーション】「里山を探検しょう」	京都大学名誉教授・丹波の森公苑名誉公苑長　河合　雅雄
2	6月28日	「里山の生き物を観察しょう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
3	7月21日	「縄文土器をつくろう」	陶芸家 宮本　ルリ子
4	8月1日～3日	縄文キャンプ「野外生活にチャレンジしよう」 縄文土器野焼き、火熾し、自炊、森遊び、昆虫採集、里山探検など	陶芸家 宮本　ルリ子、丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
5	9月6日	「丹波の味覚　栗を知ろう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	10月25日	「森遊びにチャレンジ」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
7	11月22日	「しいたけ栽培（原木づくり）に挑戦」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	12月27日	「冬の生き物の暮らしを調べよう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
9	1月24日	「自然の贈り物を生活に活かそう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	2月28日	「炭焼きを体験しょう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
11	3月28日	【閉塾式】「みんなで一年を振り返ろう」	丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月8日	【開講式】	
		自治会総会､コース別研修、地域別研修、学年別研修	
2	5月21日	教養講座：「暮らしに役立つ法律知識」	丹波ひまわり基金法律事務所弁護士　兵頭　尚
		健康福祉：「音楽で心も体もリフレッシュ」	音楽療法士　足立　博美
		地域文化：「考古博物館で学ぶ丹波の古代」	県立考古博物館　藤田　淳
		生活創造：「住民としてできること～県立柏原病院の小児科を守る会のとりくみ～」 「丹波地域の医療の現状と課題～医療問題の主役は市民～」	柏原病院の小児科を守る会　丹生　裕子 丹波医療再生ネットワーク　赤井　俊子
3	6月4日	教養講座：「生きる喜びを育む　不登校の子ども達とのかかわりを通して」	生野学園中学校･高等学校学園長　宇都宮　誠
		学年別研修：「地域実践の日に向けて」他	
4	7月2日	教養講座：「近頃の食育”丹波に生きる農的暮らし”」	農家民宿「おかだ」　岡田　かよ子
		健康福祉：「笑いと健康　ー笑いは心の潤滑油ー」	神戸山手女子大学教授　後藤　安子
		地域文化：「新聞記者から見る丹波の魅力」	丹波新聞社　荻野　祐一
		生活創造：「現代の家族像　～国際調査、現代親子調査より～」	大阪観光コンベンション協会　狭間　惠三子
5	7月16日	学　外　研　修（ＳＰｒｉｎｇ８、ひょうご環境体験館）	
6	8月20日	健康福祉：「ほんわかコミュニケーション」	心理スペース「ぽれぽれ」代表　稲松　由佳
		地域文化：「新金峯山、三嶽修験道について　ー特に藍婆が峯の修験道を中心にー」	丹波史懇話会　中野　卓郎
		生活創造：「環境保全と食の安全」	環境コンサルタント　鏡　宏一
		学年別研修：「運動会に向けて」他	
7	9月3日	奉仕作業、各学年運動会準備	運　動　会
8	10月1日	オープン学習	「陶芸教室」福壽圭輔 「囲碁ボール」谷崎　止 「ウォーキング教室」大西之晴 「パソコン教室」丹波の森公苑職員
9	10月17日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会・丹波ＯＢ大学文化祭　「元気で長生きするための100歳食入門」	食文化史研究家　永山　久夫
		※午後：高齢者の主張、芸能発表、作品展	
10	10月29日	教養講座：［丹波の森大学「太陽と森の神」］	哲学者　梅原　猛

11	11月5日	地　域　実　践　の　日	
12	11月8日	健康福祉：「認知症の理解－対応の仕方－」	神戸女子大学教授　横尾　英子
		地域文化：「氷上回廊No.２　～加古川水系を行く～」	氷上町郷土史研究会長　八木　甫瑳子
		生活創造：「身の回りの安全・安心　～振り込め詐欺の防犯対策～」	丹波生活安全課　守本　美知雄
		教養講座：［丹波の森大学「『丹波の森構想』検証フォーラム」］	
13	11月21日	学ぶ高齢者のつどい中央大会・文化祭　「地域や子どもの育ちを考える　～心豊かな高齢者の力を子どもたちへ～」	児童健全育成専門官　柳澤　邦夫
		※アトラクション、高齢者の主張、作品展	
14	12月3日	教養講座：「鮎と教育と瓢」	瓢友会会長　大中　政實
		健康福祉：「障がいがあって生きる　体験談を語る」	中央むつみ会　坂井　宗月
		地域文化：「人と野生動物との共存をめざして」	兵庫県森林動物研究センター　横山　真弓
		生活創造：「”バイオマス”で地球温暖化防止を」	神戸グリーンプラの会　角南　貴義
15	1月21日	教養講座：「丹波ＯＢ大学大学院実践発表」 「原子力発電は是か非か」	丹波OB大学大学院２年生 丹波の森公苑文化専門員　足立　幸謙
		健康福祉：「認知症と上手につきあう」	丹波老人性認知症センター　福井　辰彦
		地域文化：「大江磯吉の生涯」	篠山産業高等学校講師　荒木　謙
		生活創造：「氷河と氷河地形からみた気候変動の歴史～地球温暖化の背景～」	人と自然の博物館研究員　加藤　茂弘
16	2月4日	教養講座：「生き甲斐、死に甲斐－抜苦与楽－の人生」	善立寺住職　宮本　公朗
		学年別研修：「１年間のまとめと次年度に向けて」 地域別研修：「１年間のまとめと次年度に向けて」	
17	2月18日	修了式	
		記念講演：「兵庫、丹波の風土と文化～街かど学とまちづくり～」	園田学園女子大学教授　田辺　眞人

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」　１年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	５月１４日	記念講演　「水源の里シンポジウムからの提言」	綾部市水源の里振興課長　西川　卓男
2	６月１１日	オリエンテーション　「地域活動とは」	丹波の森公苑　文化専門員
3	６月２５日	講義「人間関係づくり」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一
4	７月　９日	講義「ボランティア活動とは」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一
5	８月２７日	インターンシップ（施設見学・実践活動の見学）	丹波の森公苑　文化専門員
6	９月１０日	講義「地域の課題解決を図るために」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一
7	９月２４日	学外研修「出石とコウノトリの郷公園」	丹波の森公苑　文化専門員
8	０月　８日	インターンシップ（施設見学・実践活動の見学）	丹波の森公苑　文化専門員
9	０月１７日	学ぶ高齢者の集い　丹波ブロック大会	
10	０月２９日	丹波の森大学公開講座	
11	１月　８日	丹波の森フォーラム	
12	１月１２日	地域活動の日。１年生で地域活動を進める。	丹波の森公苑　文化専門員
13	１月２１日	学ぶ高齢者の集い　中央大会	
14	２月１０日	地域活動の日。１年生で地域活動を進める。	丹波の森公苑　文化専門員
15	１月２８日	地域活動の日。１年生で地域活動を進める。	丹波の森公苑　文化専門員
16	２月２５日	まとめ・次年度に向けて	丹波の森公苑　文化専門員
17	３月１１日	修了式 学習を振り返って	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」２年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	５月１４日	記念講演　「水源の里シンポジウムからの提言」	綾部市水源の里振興課長　西川　卓男
2	６月１１日	オリエンテーション　・チーム作り	丹波の森公苑　文化専門員
3	６月２５日	講義「企画書の書き方」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一
4	７月　９日	企画書の作成	丹波の森公苑　文化専門員
5	８月２７日	実践活動の日	
6	９月１０日	実践活動の日	
7	９月２４日	学外研修「出石とコウノトリの郷公園」	丹波の森公苑　文化専門員
8	10月　８日	実践活動の日	
9	10月１７日	学ぶ高齢者の集い	
10	10月２９日	丹波の森大学公開講座	
11	11月　８日	丹波の森協会フォーラム	
12	11月１２日	実践活動の日	
13	11月２１日	学ぶ高齢者の集い　中央大会	
14	12月１０日	まとめの作成（まとめを作る計画を立てる）	丹波の森公苑　文化専門員
15	１月２８日	原稿作成	丹波の森公苑　文化専門員
16	２月１１日	原稿完成・原稿提出	丹波の森公苑　文化専門員
17	２月２５日	校正　まとめ　修了式打合せ	丹波の森公苑　文化専門員
18	３月１１日	修了式 学習を振り返って	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長　浅 見 真 一

平成２０年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月9日	【開講式】・オリエンテーション	丹波の森公苑職員
		丹波の城と城主群像～荻野直正と黒井城～	丹波市立植野記念美術館 学芸員　芦田　岩男
2	8月30日	波多野一族と八上城	城郭談話会　福島　克彦
3	9月6日	織田一族と柏原陣屋	丹波市教育委員会　学芸員　高雄　由紀子
4	9月27日	松平・青山氏と篠山城	兵庫県立考古博物館　山上　雅弘
5	10月18日	丹波の城をめぐる～篠山城跡と八上城跡～	高槻市立しろあと歴史館　中西　裕樹

平成２０年度県立大学特別公開講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月5日	恐竜がいた大地ができるまで	教授　小林　文夫
2	7月12日	地層が語る恐竜時代の環境	准教授　田中　里志
3	7月19日	恐竜が見た火山	准教授　先山　徹
4	7月26日	地層見学会	教授　小林　文夫
5	8月2日	丹波の恐竜とその仲間たち	准教授　三枝　春生

平成２０年度丹波の森子ども美術クラブ

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月27日 午前	マーブリングで模様制作	国吉晶子（画家）
	8月27日 午後	自然観察と絵本づくり	国吉晶子（画家）
2	8月28日 午前	マーブリングで模様制作	国吉晶子（画家）
	8月28日 午前	自然観察と絵本づくり	国吉晶子（画家）

平成２０年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
７月２６日	オーディション・開講式	劇団フジ　田村　武之、劇団員 丹波の森公苑職員
７月２７日～ ９月２１日	実習「基本段階」（５回）	
１０月１１日～ １０月２４日	実習「表現力を高める」（５回）	
１０月２５日	発表公演「フランダースの犬」	

平成２０年度丹波の森食文化講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月30日	開講式 「食の安全」と環境を守る元気な農業	丹波の森食文化講座実行委員会、丹波の森公苑職員 井上農園　　井上　陽平 丹南有機農業実践会　　酒井　菊代
2	9月20日	ミニ野菜で旬を味わう	柏原農業改良普及センター普及主査　　吉村　佳典
3	10月5日	森に行こう　秋の味覚を楽しむ	農家民宿「おかだ」　　岡田　かよ子 丹波の森公苑森づくりアドバイザー　　足立　隆昭
4	11月1日	精進料理の心　自然を戴く	極楽寺住職　　門脇　弘嶽 慧日寺住職　　門脇　靖巌
5	11月29日	誰にでもできる「食de環境配慮」	コープこうべ環境推進室　　長岡　暁子
6	12月13日	現地学習（バスツアー） 閉講式	丹波野菜工房井上農園、いちじま丹波太郎、酒井農園 丹波の森公苑職員

第１０期こころ豊かな人づくり500人委員会

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月12日	「参画と協働のまちづくり」	丹波の森研究所　篠山分室　専門研究員　横山　宜致
		講演「笑いとコミュニケーション」 落語「子はかすがい」	三遊亭　楽団治
2	9月28日	他地域500人委員と実践交流会(分散会)	
		少年の主張兵庫県大会　中学生のメッセージ2008	
3	10月26日	「プロジェクトWET」(環境学習ワークショップ)	500人委員会丹波OB会　原田　優
		「人のココロをつかむ企画」	NPO法人生涯学習サポート兵庫　事務局長　山崎　清治
4	12月13日	「地域交流活動のふり返り・まとめ」	
5	1月24日	僕が今　出来ること 「家族」「愛」「生命」「夢」「時間」 -大切なものをこころと同じ温度で伝える-	シンガーソングライター　大野　靖之

6	2月14日	「500人委員会第10期生　地域交流活動実践発表」	500人委員会丹波OB会員
		「人・モノ・地域をつなぐ−500人委員会の取組を通じて−」	(財)野外活動協会　専務理事兼事務局長　清水　勲夫
		「リサイクル楽器・手作り楽器演奏会」 「かんたん楽器つくり」	足立　晃一郎
7	3月15日	「学校と保護者・地域のいい関係づくり 〜学校へのイチャモン(無理難題要求)のウラにあるもの〜	大阪大学大学院・教育学博士　小野田　正利

平成２０年度たんば子ども塾

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	7月23日	【開講式】 みんなで楽しくコミュニケーションゲーム	篠山産業高等学校丹南校　レクリエーション研究会
2	7月29日	重曹パワー!!	柏原高等学校　理科部
3	8月8日	粉の不思議	氷上高等学校　生活科
4	8月11日	丹波篠山特産の不思議な世界	篠山産業高等学校東雲校　特産バイテク類型
5	8月22日	冷凍瞬間を体験しよう!	氷上西高等学校　３年生有志
6	8月25日	「えいご」で遊ぼう!!	篠山鳳鳴高等学校　英語クラブ
7	8月27日	楽しい機械工作 【閉講式】	篠山産業高等学校　機械研究部

出前講座の状況

消費生活

回	開催日	場　所	講　座　名	テ　ー　マ　等	人数
1	4月5日(土)	市島町 前山コミュニティセンター	市島町前山地区和光会連合会	悪質商法の手口と対処法	55
2	4月8日(火)	春日町東中公民館	東中老人クラブ	悪質商法の手口と対処法	40
3	4月9日(水)	市島町上垣公民館	市島町吉見地区上垣和光会	悪質商法の手口と対処法	50
4	4月15日(水)	大山下公民館	大山第五寿友会	悪質商法の手口と対処法	80
5	4月17日(木)	市島町上牧公民館	市島町上牧和光会	悪質商法の手口と対処法	45
6	4月24日(木)	春日部荘	多利いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	45
7	4月27日(日)	ライフピア市島	丹波市身体障害者福祉協議会市島支部	悪質商法の手口と対処法	50
8	5月17日(土)	氷上町鴨内公民館	氷上町鴨内老人会	悪質商法の手口と対処法	45
9	5月19日(月)	山南町3区公民館	山南町谷川3区いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	25
10	5月21日(水)	篠山市民センター	篠山人権擁護委員協議会	悪質商法の手口と対処法	15
11	6月21日(土)	石生新町公民館	氷上町石生新町自治会防犯研修会	悪質商法の手口と対処法	50
12	6月26日(木)	八上内自治会館	八上内ふれあい・いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	35
13	7月10日(木)	青垣住民センター別館	青垣高齢者学級「いきいき学習塾」	悪質商法の手口と対処法	150
14	7月11日(金)	市島町新道貝自治会	市島町新道貝自治会	悪質商法の手口と対処法	40
15	〃	丹波の森公苑多目的室	居宅介護支援事業者集団指導	高齢者の消費者被害の防止について	220
16	7月12日(土)	氷上町鴨内公民館	氷上町鴨内防犯講話会	悪質商法の手口と対処法	30
17	7月16日(水)	柏原町大新屋公民館	柏原町大新屋自治会	悪質商法の手口と対処法	110
18	7月17日(木)	春日公民館	春日地区民生委員児童委員民生児童協力員合同研修	悪質商法の手口と対処法	100
19	7月23日(水)	青垣町口塩久公民館	青垣町口塩久悪質商法対策講話会	悪質商法の手口と対処法	30
20	8月21日(木)	春日町朝日公民館	朝日ふれあい・いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	30
21	8月27日(水)	氷上町新郷公民館	新郷ふれあい・いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	30
22	9月28日(日)	春日町柚津公民館	柚津ホットサロン	悪質商法の手口と対処法	45
23	9月30日(火)	氷上町新庄公民館	下新庄ふれあいサロン	悪質商法の手口と対処法	30
24	10月8日(水)	市島町喜多公民館	喜多いきいきふれあいサロン	悪質商法の手口と対処法	30
25	0月21日(火)	氷上保健センター	丹波防犯協会振り込め詐欺防止研修会	振り込め詐欺の手口と対処法	35
26	0月28日(火)	春日町下野村公民館	下野村いきいきほっとサロン	悪質商法の手口と対処法	20
27	1月12日(水)	篠山市人権啓発センター	篠山よみかき教室	悪質商法の手口と対処法	10
28	1月15日(金)	大山小学校ふれあい館	大山校区まちづくり防犯グループ	悪質商法の手口と対処法	50
29	1月26日(火)	丹波市役所山南支所	山南民生委員児童委員協議会研修会	悪質商法の手口と対処法	40
30	2月10日(水)	丹波の森公苑多目的室	丹波ＯＢ大学同窓会	悪質商法の手口と対処法	120
31	2月12日(金)	西紀老人福祉センター	高齢者しゃくなげ学園	悪質商法の手口と対処法	40
32	2月18日(木)	氷上公民館	氷上民生委員児童委員協議会研修会	悪質商法の手口と対処法	55
33	2月24日(水)	しろやま交流館	黒井地区自治協議会防犯研修会	悪質商法の手口と対処法	35
34	1月9日(金)	さぎそうホール	篠山市高齢者大学「さぎそう学園」	悪質商法の手口と対処法	80

35	1月19日(月)	老人憩いの家神田荘	大山第二寿友会	悪質商法の手口と対処法	50
36	2月22日(日)	山南町井原公民館	山南町むつみ会	悪質商法の手口と対処法	30
37	2月25日(水)	木の根センター	丹波ブロック老人会女性リーダー研修	悪質商法の手口と対処法	50
38	3月5日(木)	西紀老人福祉センター	西紀北防犯グループ研修会	悪質商法の手口と対処法	40
39	3月8日(日)	雲部コミセン	くもべまちづくり協議会防犯セミナー	悪質商法の手口と対処法	80
40	3月17日(火)	山南町奥公民館	山南町奥ふれあいいきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	40
41	3月26日(木)	鴨庄コミュニティセンター	和光会鴨庄地区連合会	悪質商法の手口と対処法	80

森づくり

回	開催日	場　所	対象団体	テーマ等	人数
1	4月4日	丹波市春日町多田	池谷新池水利組合	池田新池下の造成地緑化指導	2
2	4月8日	丹波市春日町多田	春日町多田自治会	里山(保月の里)整備指導	2
3	4月11日	丹波市春日町古川	古川自治会	古川里山林整備指導	2
4	4月25日	丹波市柏原町新井	新井小学校	里山自然観察	20
5	5月3日	丹波市春日町古川	古川自治会	古川里山林整備指導	3
6	5月13日	丹波市柏原町	崇広小学校	里山の生き物学習・学校里山自然観察	77
7	5月28日	丹波市柏原町	崇広小学校	里山自然観察	77
8	6月10日	丹波市春日町古川	古川自治会	古川里山林整備指導	6
9	6月12日	丹波市山南町上久下	上久下小学校	里山自然観察	18
10	6月18日	丹波市山南町和田	和田小学校	ホトケドジョウの話	25
11	6月23日	丹波市山南町小川	小川小学校	人と自然について(講話)	30
12	7月4日	丹波市柏原町	崇広小学校	オオムラサキ展示	77
13	9月2日	丹波市春日町古川	古川自治会	古川里山林整備指導	2
14	12月7日	丹波市春日町古川	古川自治会	里山植栽指導	6
15	12月9日	丹波市市島町中竹田	中竹田自治会	里山林整備指導	7
16	1月28日	丹波市山南町上久下	上久下小学校	里山観察	18
17	2月4日	丹波市市島町中竹田	中竹田自治会	里山林整備指導	13
18	2月15日	丹波市山南町上久下	上久下小学校	里山観察	36
19	2月27日	吹田市	吹田市立博物館	オオムラサキ飼育現場検証	2
20	2月28日	丹波市春日町多田	春日町多田自治会	緑化樹植栽指導	8
21	3月20日	丹波市春日町古川	古川自治会	里山植樹指導	9
22	3月26日	丹波市市島町中竹田	中竹田管理会	里山林整備指導	12

活動一覧

平成20年４月１日～平成21年３月31日

月　日	主　な　事　項	会　場
２０年４月		
１０	花と緑の教室①	丹波の森公苑
１２	丹波のむかしばなし第８集原画展（～２４日）	丹波の森公苑
１３	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１５	ふれあい劇場実行委員会	丹波の森公苑
１６	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
１８	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	オオムラサキの幼虫放虫（氷上特別支援学生）	丹波の森公苑
２０	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	第９期森づくりスタッフ活動発足式	丹波の森公苑
２１	オオムラサキの幼虫放虫（崇広小学校）	丹波の森公苑
	水辺の生きもの観察（崇広小学校）	丹波の森公苑
２２	人材ネットワークシステム会議	丹波の森研究所篠山分室
２３	里山研修（県立大学大学院生）	丹波の森公苑
２４	たんば・田舎ぐらし実行委員会	丹波の森公苑
２６	丹波の森写真展表彰式及び展示会（～５月８日）	丹波の森公苑
２９	春の里山ふれあいハイキング	丹波の森公苑
３０	丹波の森構想評価・検証実行委員会	丹波の森公苑
５月		
１	丹波の森春の美術展（～６日）	丹波の森公苑
６	丹波の森園芸教室①	丹波の森公苑
８	丹波ＯＢ大学開講式	丹波の森公苑
９	丹波ＯＢ大学同窓会総会	丹波の森公苑
１３	丹波の森写真展（～２４日）	篠山市民センター
	丹波ＯＢ大学大学院開講式	丹波の森公苑
１５	花と緑の教室③	丹波の森公苑
１７	丹波文化団体協議会総会	丹波の森公苑
１８	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
２０	語りべクラブ役員会	丹波の森公苑
２１	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
２３	丹波のむかしばなし現地研修	丹波管内
２４	丹波消費者団体連絡協議会総会	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾①開塾式	丹波の森公苑
２５	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２７	丹波の森園芸教室②	丹波の森公苑
２８	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
２９	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
３０	アトリエアーティスト審査会	丹波の森公苑
３１	シューベルティアーデたんば総会	お菓子の里たんば
	里山実習（関西大学建築土木科）	丹波の森公苑
６月		
１	里山倶楽部活動（森の祭典）	小野市
３	トライやる・ウィーク受け入れ（～７日）	丹波の森公苑
４	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
７	たんば田舎ぐらしフオーラム	丹波の森公苑
８	丹波の森ふれあい劇場	丹波の森公苑
	人材ネットワーク地域登録員フォーラム	篠山市民センター
１１	第１回丹波の森構想評価・検証委員会	丹波の森公苑
	平成１９年度（財）兵庫丹波の森協会監事監査	丹波の森公苑

	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
１２	花と緑の教室④	丹波の森公苑
１３	水辺の生きもの観察（柏原保育所）	丹波の森公苑
１４	パワーアップ事業公開審査会	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし現地研修	丹波管内
１５	５００人委員丹波ＯＢ会総会・交流会	丹波の森公苑
	ウイーンの森親善訪問参加者説明会	丹波の森公苑
	里山実習（関西大学建築土木科）	丹波の森公苑
１７	森づくりスタッフ・里山倶楽部活動	但馬高原植物園
	丹波の森公苑園芸教室③	但馬高原植物園
１８	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
	丹波青少年本部会議	丹波の森公苑
１９	ささやまの森公園運営協議会	ささやまの森公園
２１	おさん茂兵衛 DE たんば実行委員会総会	丹波の森公苑
２２	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
２５	丹丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
２６	高校生通学列車指導	ＪＲ篠山口～福知山
２８	丹波縄文の森塾②	丹波の森公苑
	音楽座ミュージカル「リトルプリンス」公演	丹波の森公苑
２９	（財）兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑

7月

１	オオムラサキ観察会（崇広小学校）	丹波の森公苑
２	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
３	ウイーンの森親善訪問団出発（～10 日）	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会①	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波の森公苑
５	兵庫県立大学特別公開講座①	丹波の森公苑
	里山実習（淡路景観園芸学校）	丹波の森公苑
６	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
８	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
９	丹波の森公苑園芸教室④	丹波の森公苑
	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
１０	花と緑の教室④	丹波の森公苑
	丹波文化団体協議会第１回理事会	丹波の森公苑
１２	５００人委員会丹波セミナー	丹南健康福祉センター
	兵庫県立大学特別公開講座②	丹波の森公苑
	子どもの安全安心を守るネットワーク会議	四季の森生涯学習センター
１３	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
１６	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
１７	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
	丹波の森大学①　開講式	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
１８	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
１９	兵庫県立大学特別公開講座③	丹波の森公苑
２１	丹波縄文の森塾③	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２３	たんば子ども塾開講式①	篠山産業高校丹南校
	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	オオムラサキ観察会（葛野保育園）	丹波の森公苑
２５	丹波地域スクラム会議	丹波の森公苑
２６	兵庫県立大学特別公開講座④	丹波管内
	丹波の森子どもミュージカル体験塾オーデイション・開講式	丹波の森公苑
２７	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
２９	たんば子ども塾②	柏原高校
	こころ豊かな美しい丹波推進会議理事会・総会	丹波の森公苑
	兵庫県生きがい創造協会丹波支部運営委員会	丹波の森公苑

	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
３０	たんば道えにし総会	丹波の森公苑
	高齢者学習研究協議会ブロック代表者会議	丹波の森公苑
３１	丹波の森大学②	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波の森公苑

８月

１	丹波縄文の森塾「縄文キャンプ」④（～３日）	丹波の森公苑
	丹波のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
２	兵庫県立大学特別公開講座⑤	丹波の森公苑
３	丹波地域民俗芸能団体協議会	丹波の森公苑
５	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～６日）	丹波の森公苑
７	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
８	たんば子ども塾③	氷上高校
	丹波の森子ども美術クラブ（～９日）	丹波の森公苑
９	講座「丹波学」開講式①	丹波の森公苑
	夏の昆虫観察会（あつまれ昆虫 kids）	丹波の森公苑
１１	たんば子ども塾④	篠山産業東雲校
１２	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
１９	丹波のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
２０	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
２１	丹波の森大学③	丹波の森公苑
	兵庫県高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議	丹波の森公苑
	丹波ブロック少年少女将棋大会	丹波の森公苑
２２	たんば子ども塾⑤	氷上西高校
２４	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
	めだかの学校	丹波の森公苑
	アトリエアーティスト（研修作家）滞在（～9 月７日）	丹波の森公苑
２５	たんば子ども塾⑥	篠山鳳鳴高校
２７	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
	たんば子ども塾⑦閉講式	篠山産業高校
	丹波の森子ども美術クラブ（～２８日）	丹波の森公苑
２８	地域文化を考えるシンポジウム実行委員会	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波の森公苑
３０	講座「丹波学」②	丹波の森公苑
	丹波の森食文化講座①	丹波の森公苑

９月

２	くらしのクリエーター・協力員研修	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会②	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
３	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
	丹波の森大学専科講座（石窯づくり）	丹波の森公苑
４	丹波の森大学④	丹波の森公苑
５	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
６	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
	講座「丹波学」③	丹波の森公苑
７	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんばオープニングコンサート	お菓子の里たんば
９	恐竜ほ乳類化石を活かしたワーキング会議	丹波の森公苑
１０	丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑
	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
１１	県民交流広場事業広域推進委員会	丹波の森公苑
１３	秋の里山の実り体験	丹波の森公苑
１５	「高齢者交通安全の日」啓発キャンペーン	丹波市内
１７	第２回丹波の森構想評価・検証委員会	丹波の森公苑
	丹波の森秋の美術展（～２１日）	丹波の森公苑

	丹波の森大学専科講座	丹波の森公苑
	秋の交通安全運動出発式	丹波市内
１８	花と緑の教室⑥	丹波の森公苑
	丹波のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
２０	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～２１日）	丹波の森公苑
	秋の里山の実り体験	丹波の森公苑
	丹波の森食文化講座②	丹波の森公苑
２１	森づくりスタッフ・里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２４	丹波ＯＢ大学大学院（学外研修）	豊岡市
２５	丹波の森大学⑤	篠山市民センター
２６	兵庫県文化賞受賞者小品展（～２８日）	丹波の森公苑
	里山実習（関西大学建築土木科）	丹波の森公苑
２７	秋の里山の実り体験	丹波の森公苑
	講座「丹波学」④	柏原公民館
	丹南街角コンサート	大沢八幡神社
２８	市島街角コンサート	石像寺
	協賛コンサート	ささやまの森公園

１０月

１	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
	里山の実り体験（崇広幼稚園）	丹波の森公苑
	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし語りべクラブ役員会	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	黒井小学校、崇広小学校
３	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
４	青垣町街角コンサート	佐治小学校
５	丹波の森食文化講座③	丹波の森公苑
７	食育サポーター養成講座（～８日）	丹波の森公苑
	秋の生きもの観察（崇広小学校）	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	神楽小学校、西小学校
８	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	里山の実り体験（大山小学校）	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	西紀南小学校
９	花と緑の教室⑦	丹波の森公苑
	丹波の森大学⑥	丹波の森公苑
１１	自然体験サポーター研修会	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～１２日）	丹波の森公苑
	西紀町街角コンサート	黒豆の館
１２	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１５	里山の実り体験（志方東小学校）	丹波の森公苑
１６	丹波の森大学⑦現地研修	奈良市
１７	県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会	丹波の森公苑
	丹波ＯＢ大学文化祭	丹波の森公苑
	里山の実り体験（中央小学校）	丹波の森公苑
１８	講座「丹波学」⑤	丹波地域
	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～１９日）	丹波の森公苑
	春日町街角コンサート	丹波市立進修小学校
１９	篠山街角コンサート	中立舎
２１	キン・コン・カン・コンサート	柏原中学校、大路小学校
	恐竜ほ乳類化石を活かしたワーキング会議	上久下公民館
	里山の実り体験（崇広小学校）	丹波の森公苑
２３	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
	インターネットに関する学習会	丹波の森公苑
	語り部クラブ研修会	丹波の森公苑
２４	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	西紀小学校、篠山東中学校
２５	丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑

	氷上町街角コンサート	丹波市立中央小学校
２６	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	５００人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
	山南町街角コンサート	大地農園アスマターズ
２９	丹波の森大学⑧公開講座	たんば田園交響ホール
	丹波ＯＢ大学・丹波ＯＢ大学大学院	たんば田園交響ホール
３０	キン・コン・カン・コンサート	福住小学校
３１	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会③	丹波の森公苑

１１月

１	丹波の食文化講座④	丹波の森公苑
２	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
５	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
６	キン・コン・カン・コンサート	後川小学校
	丹波文化団体協議会第２回理事会	丹波の森公苑
７	里山学習（古市小学校）	丹波の森公苑
８	丹波の森協会設立２０周年記念式典	丹波の森公苑
	丹波の森構想検証フォーラム	丹波の森公苑
	丹波の森大学⑨	丹波の森公苑
	丹波ＯＢ大学・丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	柏原町街角コンサート	柏原藩陣屋跡
９	丹波の森フェスティバル	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんばファイナルコンサート	丹波の森公苑
	秋の里山ふれあいハイキング	丹波の森公苑
１１	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	インターンシップ受入（～１４日）	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	大山小学校
１２	キン・コン・カン・コンサート	城北小学校
	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
１３	花と緑の教室⑧	丹波の森公苑
	たんば道えにし打合会	丹波の森公苑
１５	キン・コン・カン・コンサート	遠阪小学校
１９	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
２０	丹波の森大学⑩	丹波の森公苑
２１	県学ぶ高齢者のつどい中央大会、丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
２２	丹波縄文の森塾⑦	丹波の森公苑
２３	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２６	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
２７	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波の森公苑
２９	丹波の森演劇祭（～３０日）	丹波の森公苑
	丹波の食文化講座⑤	丹波の森公苑
３０	ふるさとの心をうたう丹波音楽祭	たんば田園交響ホール
	協賛コンサート	神戸市内

１２月

３	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
	たんば道えにし意見交換会	丹波の森公苑
５	丹波文化活動交流会（～７日）	丹波の森公苑
７	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１０	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
１１	丹波の森大学⑪　閉講式	丹波の森公苑
	花と緑の教室⑨	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会④	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
１３	丹波の食文化講座　閉講式	丹波の森協会
	５００人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
１４	丹波文化団体協議会先進地視察研修	岐阜県
１６	第３回丹波の森構想評価検証委員会	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑

２０	兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑
２５	恐竜・ほ乳類化石プロジェクト会議	丹波の森公苑
	地域文化を考えるシンポジウム実行委員会	丹波の森公苑
２７	丹波縄文の森塾⑧	丹波の森公苑

２１年１月

１０	冬の里山生きもの観察会	丹波の森公苑
１４	花と緑の教室⑩	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会⑤	四季の森生涯学習センター
	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波管内
１６	丹波の森新春書き初め展（～１８日）	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波管内
１８	冬の里山生きもの観察会	篠山市内
	協賛コンサート	小野市うるおい交流館エクラ
２１	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
２２	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
２４	丹波縄文の森塾⑨	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	西紀北小学校
	５００人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
２５	森づくりスタッフ・里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２７	丹波の森構想評価・検証事業（共生社会部会）	丹波の森公苑
２８	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証事業（まちづくり部会）	丹波の森公苑
２９	キン・コン・カン・コンサート	青垣中学校

２月

１	たんば道えにし地域交流会	丹南健康福祉センター
４	丹波ＯＢ大学	丹波の森公苑
５	丹波の森構想評価・検証事業（地域産業部会）	丹波の森公苑
６	丹波の森新春書き初め展（～８日）	篠山市立中央図書館
８	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１１	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
１２	花と緑の教室⑪	丹波の森公苑
１４	５００人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
１７	兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑
１８	丹波ＯＢ大学修了式	丹波の森公苑
１９	丹波の森公苑運営委員会「芸術文化部会」	丹波の森公苑
	丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	地域文化を考えるシンポジウム実行委員会	丹波の森公苑
２１	消費者セミナー	丹波の森協会
	地域文化を考えるシンポジウム実行委員会	丹波の森公苑
２２	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
	河合雅雄先生感謝の集い	丹波の森公苑
２４	恐竜ほ乳類化石を活かしたワーキング会議	丹波の森公苑
	丹波地域子育て支援研修会	丹波の森公苑
２５	丹波ＯＢ大学大学院	丹波の森公苑
	丹波の森公苑運営委員会「人と自然部会」	丹波の森公苑
	丹波の森構想評価・検証委員会総括部会⑥	丹波の森公苑
２８	たんば道えにし先進事例調査	滋賀県
	丹波縄文の森塾⑩	丹波の森公苑
	パワーアップ事業報告会	丹波の森公苑

３月

１	丹波の森童謡・唱歌の祭典	丹波の森公苑
３	第４回丹波の森構想評価・検証委員会	丹波の森公苑
６	第３回兵庫県高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議	丹波の森公苑
１０	丹波地域集落活性化戦略調査委員会ワーキング部会	丹波の森公苑
１１	丹波ＯＢ大学大学院（修了式）	丹波の森公苑
	丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑
１２	花と緑の教室⑫	丹波の森公苑

１４	丹波の森構想検証フォーラム	丹波の森公苑
１５	丹波の森構想 20 周年記念市民植樹会	丹波の森公苑
	丹波合唱講習会	丹波の森協会
１７	丹波地域集落活性化戦略調査委員会	丹波の森公苑
１８	国際ソロプチミスト記念植樹会	丹波の森公苑
１９	丹波文化団体協議会第 3 回理事会	丹波の森公苑
	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
２２	里山倶楽部記念植樹	丹波の森公苑
	おさん茂兵衛改め「恋路の丹波刀旅」	丹波の森公苑
２４	ささやまの森公園運営協議会	ささやまの森公園
２８	丹波縄文の森塾⑪開塾式	丹波の森公苑
	オオムラサキの舞う里づくり親子植樹会	丹波の森公苑
３０	（財）兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑

施設利用一覧

ホール利用団体

団　　体	地域	団　　体	地域
アステラス製薬(株)	神戸市	丹波市立柏原中学校	丹波市
「2008 夢フォーラムＩＮ丹波」実行委員会	丹波市	丹波新体操クラブ	丹波市
朝日新聞社北兵庫朝日会	丹波市	丹波青少年本部	丹波市
大阪音楽教育の会	篠面市	丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデ実行委員会	丹波市
おさん茂兵衛ＤＥたんば実行委員会	丹波市	丹波の森ふれあい劇場実行委員会	丹波市
柏原子ども会連絡協議会	丹波市	丹波の森文化のまちづくり実行委員会	丹波市
（株）北近畿クボタ	丹波市	丹波ひかみ農業協同組合	丹波市
劇研椎の実	丹波市	丹波文化団体協議会	丹波市
県立柏原高等学校コーラス部	丹波市	丹波民謡拍声会	丹波市
県立柏原高校吹奏楽部	丹波市	西崎　祥　舞踊研究所	丹波市
県立柏原高校	丹波市	西宮社会保険事務所	西宮市
上月みのりバレエスクール	篠山市	日本共産党丹波地区委員会	丹波市
神戸新聞社	神戸市	日本の童謡・唱歌をひろめる会	篠山市
コーラス・レヴール	篠山市	日本民謡秀敦会	丹波市
コンソート音楽院	丹波市	氷上混声合唱団パストラール	丹波市
(社)柏原納税協会	丹波市	氷上吹奏楽団	丹波市
(社)兵庫県保健衛生組織連合会	神戸市	兵庫県	神戸市
ジョイフル	丹波市	兵庫県愛育連合会	神戸市
身体障害者社会学級生のつどい実行委員会	神戸市	兵庫県教職員組合氷上支部	丹波市
丹波市音楽協会	丹波市	兵庫県高齢者いきがい創造協会	加古川
丹波市商工会青年部	丹波市	兵庫県丹波県民局	丹波市
丹波市吹奏楽連盟	丹波市	兵庫県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック実行委員会	丹波市
丹波市曹洞宗青年会　円通会	丹波市	立正佼成会	大阪市
丹波市中学校音楽研究部会	丹波市	連合兵庫丹波地域協議会	丹波市
丹波市謡曲同好会	丹波市		

来園団体（施設見学など）

団　　体	地　域	団　　体	地　域
有岡ブレーブス	伊丹市	柏原保育所	丹波市
いなみ野学園明友会	加古川市	崇広小学校	丹波市
光明会館管理運営委員会	神戸市	但馬長寿の郷応援隊	養父市
コープサークル体操、卓球	神戸市	氷上特別支援学校	丹波市
国際ソロプチミスト六甲	神戸市	和田中学校	丹波市
多田エンゼルス	神戸市		
日高町子ども会（堀区育成会）	日高町		
兵庫県いなみ野学園学生自治会	加古川市		
御影北小少年野球部	神戸市		
紫洲流日本明吟会西宮支部	西宮市		

グラウンド・テニスコート利用団体

団　体　名	団　体　名
ELT	丹波 OB 大学グランドゴルフ部
柏原看護専門学校	丹波 OB 大学同窓会
柏原グランドゴルフ協会	丹波市グランドゴルフ協会
柏原高校	丹波市サッカー協会
柏原高校サッカー部	丹波市商工会青年部
柏原スターズ	丹波市ソフトテニス協会
柏原体育振興会	丹波市体育協会
柏原中学校	丹波市テニス協会
柏原テニスクラブ	丹波竜ほのぼのテニスクラブ
柏原土木事務所 テニス部	丹有サッカー協会
柏原軟式野球協会	新井ユニオンズ
春日インパルス	兵庫タイガース
サンデーズ	兵庫ドリームス
山南中学校	ミックスベジタブル
下町沖田野球部	木曜会
スポーツクラブ２１崇広	和田山テニスクラブ

展示ギャラリー利用状況

月	展　示　会　名（開催期間）
4	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第８集原画展（11～24） 第１６回兵庫丹波の森協会写真コンクール展（25～5／8）
5	城垣偉佐子　菩提寺流和紙折り紙展（13～25） 第３回丹波（柏原・山南）絵画教室油彩画選抜展（27～6／6）
6	城谷正己　切り絵展（10～22）
7	丹波ＯＢ大学４年生趣味交歓会（2～5） 木彫りの野鳥展（6～19） 荻野雄一郎　写真展「おとうと」（29～8／9）
8	「草木のふしぎいろ」展（19～26）
9	アトリエアーティスト国吉晶子展（7～15） 不華篆会習作展ⅩⅥ-デザインとして見る篆刻の展開-（17～23） 老後の趣味三人展　石原康次郎、岡本忠治、足立良夫（30～10／13）
11	(財)兵庫丹波の森協会２０周年のあゆみ（1～14） 丹波年輪の里絵画サークル作品展（23～12／3）
12	文化活動交流会作品展（4～7） 「瓢に学ぶ」大中正實作品展（9～21） サイエンスギャラリー～恐竜復元模型と日本恐竜文化～（28～1／12）
1	彩展　るり水彩画教室（23～2／3）
2	つくしの会押し花展（10～22） 笹倉睦子　染と絵手紙展（24～3／8）
3	兵庫県統計グラフコンクール優秀作品展（12～25）

(財)兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区　分	期　　日	開　催　地	出席者数	議　決　・　承　認　事　項
第63回	平成20年 6月28日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16名 うち表決 委任　4	・常務理事の互選について ・平成19年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業報告及び収支決算の件 ・平成19年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支決算の件 ・平成19年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業報告及び収支決算の件 ・平成19年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計事業報告及び収支決算の件 ・役員の選任について
第64回	平成20年 12月20日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16名 うち表決 委任　4	・平成２０年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件
第65回	平成21年 2月17日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	１６名 うち表決 委任　3	・（財）兵庫丹波の森協会寄附行為の一部変更について
第66回	平成21年 3月30日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	１６名 うち表決 委任　3	・平成２１年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業計画及び収支予算の件 ・平成２１年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支予算の件 ・平成２１年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成２１年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園等別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成２１年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計事業計画及び収支予算の件

(財)兵庫丹波の森協会役員名簿

平成21年3月31日現在

役員の種類	氏　　名	所　属　団　体　等
顧　問	河　合　雅　雄	丹波の森公苑名誉公苑長（京都大学名誉教授）
理事長	辻　　重五郎	丹波市長
副理事長	酒　井　隆　明	篠山市長
常務理事	大　對　信　文	（財）兵庫丹波の森協会
〃	林　　一　路	丹波の森公苑次長
理　事	荒　木　幸　代	篠山市農業委員
〃	内　田　貞　雄	丹波県民局長
〃	大　木　康　次	丹波青少年本部本部長
〃	大　木　　豊	丹波市観光協会会長
〃	荻　野　美代子	丹波市連合婦人会会長
〃	小　田　晋　作	（株）丹波新聞社社長
〃	片　寄　俊　秀	大阪人間科学大学教授
〃	木　下　政　夫	丹波市自治会長会副会長
〃	杉　尾　吉　弘	（株）夢こんだ代表取締役社長
〃	谷　口　　務	丹波文化団体協議会会長
〃	中　瀬　　勲	丹波の森公苑長（兵庫県立大学教授）
〃	松　本　正　義	篠山市自治会長会会長
監　事	金　野　幸　雄	篠山市副市長
〃	吉　住　康　之	丹波市副市長

（理事について、氏名の記載は50音順）

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区　　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第 26 回	平成 20 年 9 月 10 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	9 名	・平成 20 年度事業の実施状況及び 21 年度の事業計画等について ・丹波の森構想評価・検証事業について
第 27 回	平成 21 年 3 月 11 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	11 名	・専門部会の報告（人と自然部会、芸術文化部会） ・平成 20 年度事業報告等について ・平成 21 年度事業計画について

専門部会の開催状況

部　会　名	開　催　日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
人と自然部会	平成 21 年 2 月 25 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 会議室	4 名	・平成 20 年度事業実施状況とその検証課題等について ・平成 21 年度事業計画について ・丹波の森構想評価・検証事業中間報告について ・意見交換
芸術文化部会	平成 21 年 2 月 19 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 会議室	5 名	・平成 20 年度丹波の森公苑文化振興部事業実施状況及び事業評価について ・平成 21 年度丹波の森公苑文化振興部実施計画 ・運営委員会における意見・提言について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

平成21年3月31日現在

区　分	氏　名	職　名・所　属　団　体　等	備　考
地域代表	赤井俊子	特定非営利活動法人丹波まちづくりプロジェクト代表	
	浅倉陽子	特定非営利活動法人ＩＫＧＳ緑化協会理事 おさん茂兵衛ＤＥたんば実行委員会企画運営委員長	
	内田　貞雄	（財）兵庫丹波の森協会理事、丹波県民局長	
	荻野美代子	（財）兵庫丹波の森協会理事、丹波市連合婦人会長	
	小林　廣子	篠山市いずみ会長	
	小森　真一	ひょうごＣＳＲクラブ丹波支部長	
	酒井　隆明	（財）兵庫丹波の森協会副理事長、篠山市長	
	谷口　　務	（財）兵庫丹波の森協会理事、丹波文化団体協議会長	
	西尾　　昭	篠山音楽協会長	
	由良　　亨	丹波年輪の里館長	
	吉見　守正	神戸新聞丹波総局長	
学識経験	岡田眞美子	兵庫県立大学環境人間学部教授	
	加藤恵正	県民生活審議会委員、兵庫県立大学教授	
	河内厚郎	夙川学院短期大学教授、「関西文学」編集長	芸術文化部会長
	小山修三	国立民族学博物館名誉教授、吹田市立博物館長 福井県若狭三方町縄文博物館運営委員	
	永田　　萠	（株）妖精村代表取締役、イラストレーター	
	中村順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長	人と自然部会長
	端　　信行	兵庫県立歴史博物館長	委員長
	服部　　保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	

（氏名の記載は、50音順）

丹波の森公苑運営委員会・専門部会名簿

「人と自然」部会

平成 21 年３月 31 日現在

氏　　名	所　属　団　体　等	備　考
中村　　順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸　理事長	部会長
池田　　和代	市島ふれあいブリッジ	
市野　　達也	立杭を考える会	
小林　　和子	保育ボランティアきらら、みつばちグループ、篠山市少年補導委員	
小山　　敏	元県民運動篠山市専門員	
高見　　豊	日本野外生活推進協会	
谷　　憲治	ＮＰＯ法人　大名草生産部会長	
藤本　　三千代	こころ豊かな人づくり 500 人委員ＯＢ	
藤原　　利正	梶自然愛好会	

「芸術文化」部会

平成 21 年３月 31 日現在

氏　　名	所　属　団　体　等	備　考
河内　　厚郎	夙川学院短期大学教授　「関西文学」編集長　文化プロデューサー	部会長
磯尾　　隆司	丹波彫刻会	
井上　　和美	演劇塾「くろまめ」	
酒井　　欣也	シューベルティアーデたんばプロデューサー	
杉尾　　吉弘	創作人の会「めんめ」	
西田　　夫佐	丹波広報スタッフ・音楽講師	
前川　　鈴代	丹波広報スタッフ・美たんばネット	

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■　丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援

協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1　研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所専門研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■地域づくり活動サポーター	■緑のパトロール隊
地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。	道沿いや街並みの緑化・花づくりについて助言を行い、美しい地域づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■青少年活動コーディネーター
消費生活、環境問題などについての情報の提供や相談に応じ、安心な暮らしを応援します。	青少年活動に関する相談や指導者の紹介など地域の実情に応じた活動を応援します。
■展示・企画スタッフ	■芸術村スタッフ
展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。	芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。
■青少年愛護活動推進員	
青少年の健全育成を図るため、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを応援します。	

2　その他

■　会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ

■　展示ギヤラリー、ライブラリー（図書・ビデオ・パソコンコーナー）、グループ活動コーナー、子ども室

■　スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

ライブラリーのご案内（1階）

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、右手の事務室内にライブラリーがあります。
このコーナーはご自由に利用いただけますのでお気軽にお立ち寄りください。

■図書コーナー　消費生活、芸術・文化、環境、青少年関係などの図書、各種資料を約 3,000 冊所蔵。自由に閲覧いただけます。

■ビデオコーナー　消費者問題、環境問題、健康・福祉、地域づくりなど、暮らしに役立つビデオソフト約 600 本を揃えており館内で見ていただけます。また、貸し出しも行っています。
＊ビデオの貸し出しは 1 回につき 3 本まで、貸し出し期限は 2 週間です。

展示ギャラリーのご案内（1階）

あなたの作品　展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手の喫茶スペース手前に展示ギャラリーがあります。
このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。
広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

■利用期間　搬入出を含む 12 日間以内（休園日を除く）

■お申込み・お問合せ　丹波の森公苑 2 階　文化振興部　（０７９５－７２－５１７０）まで

生活創造活動グループサポート制度のご案内

グループで使いまくろう！

■ご利用特典　施設や備品が利用できるほか、情報誌「丹波の森」などでグループ活動を広報します。

【無料で利用できる施設と備品】
グループ活動コーナー（2 階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（ グループ間の連絡用）、展示ケース、パソコン、印刷機（紙は持参すること）

【有料で利用できる備品】
コピー機（有料　1 枚 10 円　紙代込み）

■対象グループ　丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境･資源」「健康･福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。
＊政治･宗教活動･営利目的など、サポート制度の目的になじまないグループは除きます。

■利用できる曜日及び時間
休園日を除く日の午前 9 時～午後 10 時（受付時間　午前 9 時～午後 5 時）
ただし、展示ギャラリーの利用は、午前 9 時～午後 5 時
（受付時間　午前 9 時～午後 5 時　利用の 3 日前までにお申込みください）
パソコン･印刷機･コピー機の利用は、午前 9 時～午後 5 時
（受付時間　午前 9 時～午後 4 時 30 分）

■お申込み・お問合せ　丹波の森公苑 1 階　活動支援部　県民協働課（０７９５－７２－５１６８）まで

楽しみましょう～森遊び～

■里山散策　　四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。

■里山創造活動（森遊び）モデルの里山で「丹波の森公苑・森づくりスタッフ」や「丹波の森公苑・里山倶楽部」の活動拠点としてシイタケ栽培、炭焼き、樹名札づくりなど様々な活動を展開しています。

■お問合せ　　丹波の森公苑１階　活動支援部　森づくり課（０７９５－７２－５１６９）まで



沿革

（財）兵庫丹波の森協会の設立

１　設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

１　自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
２　自然とのふれあいに関する事業
３　新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
４　丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
５　県立丹波の森公苑の管理運営及びこれに関する事業の受託
６　自然活用型野外ＣＳＲ施設「ささやまの森公園」の運営等に関する事業の受託
７　その他目的達成のため必要な事業

２　沿　革

・昭和６３年１１月１６日　丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
・平成　２年　２月　１日　兵庫県知事から「財団法人　丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
・平成　８年　４月　１日　県立丹波の森公苑の管理運営を受託
・平成１３年１０月　１日　兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
・平成１８年　４月　１日　財団法人　兵庫丹波の森協会に名称を変更
　兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定される。（～平成２０年度）
　篠山市からささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託

丹波の森公苑の設置

１　設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第１号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外ＣＳＲ施設の第１号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

２　沿　革

・平成　８年　４月　１日　兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成８年兵庫県条例第６号）により、氷上郡柏原町柏原５６００番地に設置
　兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
・平成　８年　４月２９日　県立丹波の森公苑開園
・平成　９年　７月　６日　多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始
・平成１８年　４月　１日　指定管理者として(財)兵庫丹波の森協会を指定

施設の概要

丹波の森公苑の概要

（1）敷 地 面 積　　３５７，０６３.９９㎡
（2）建 物 面 積　　延６，０２６.３２㎡

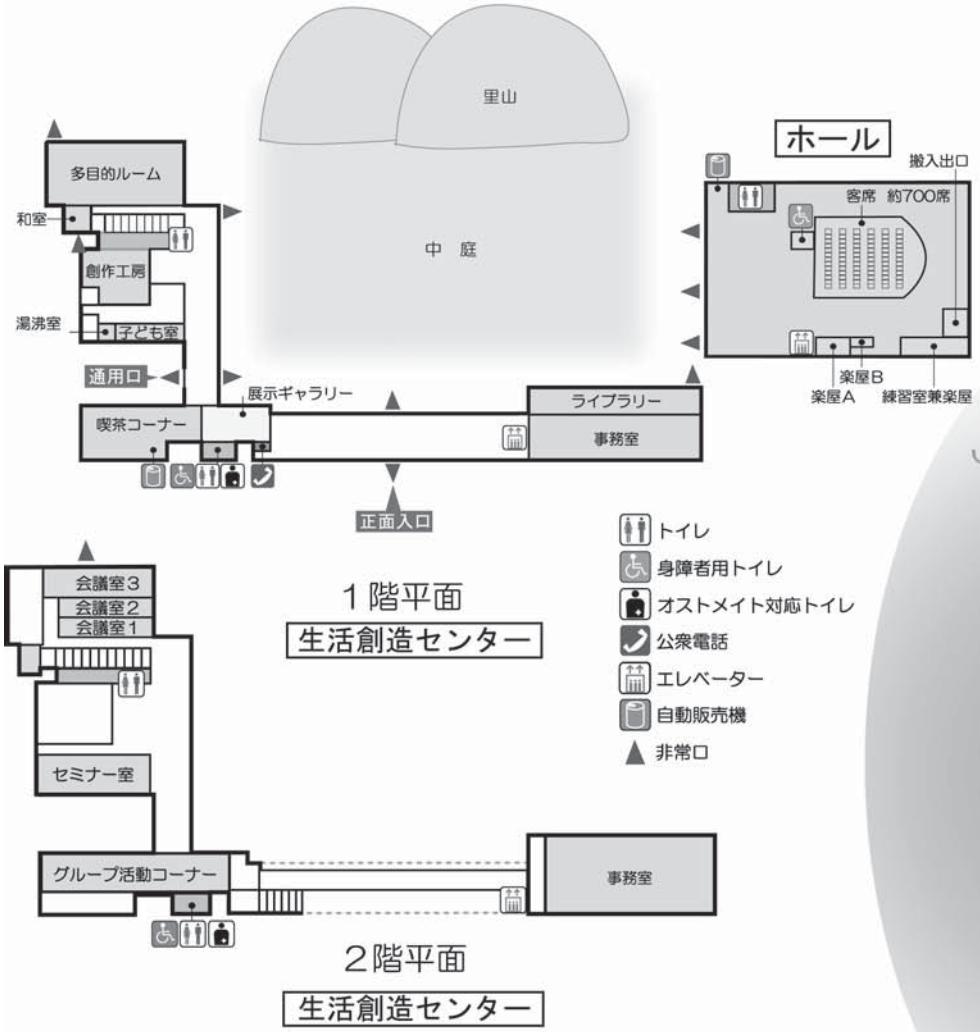
建物の内訳

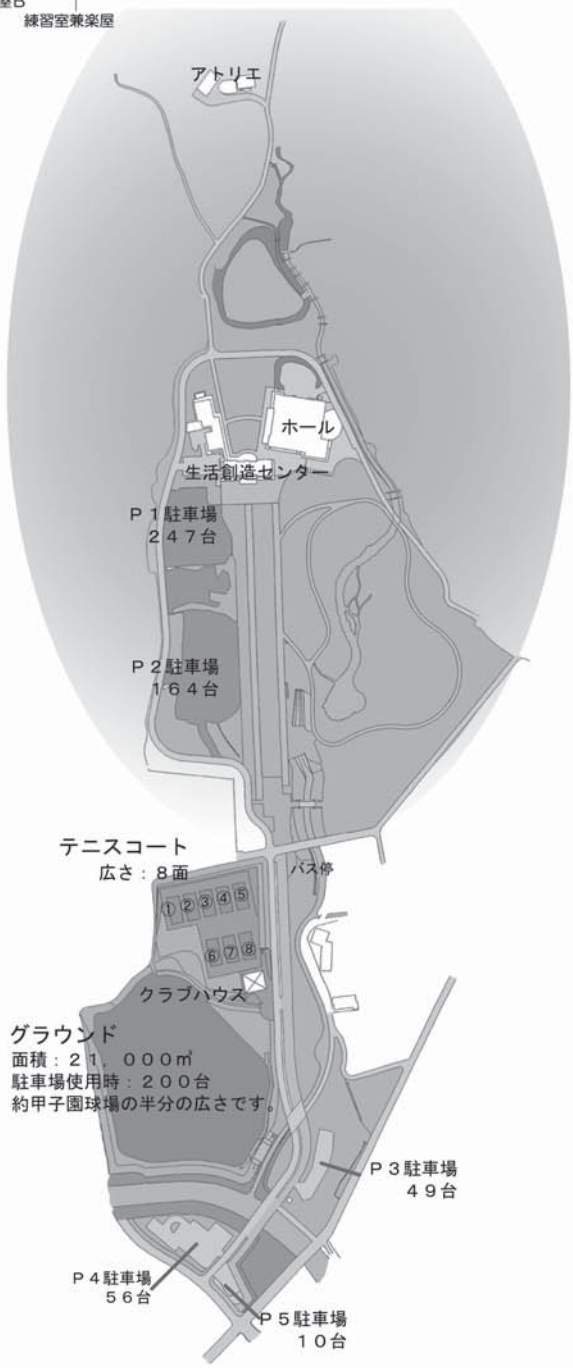
名称		建物面積（㎡）	内容
生活創造センター棟	管理情報棟	１，０６９.３３	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、喫茶・軽食コーナー、事務室等
	研修創作棟	１，１４２.３６	多目的ルーム（展示等）、創作工房、和室、セミナー室、会議室１、会議室２、会議室３等
	渡り廊下（１）	５３.２８	
	プロパン庫	5.１６	
ホール棟	ホール	２，９６９.６２	ホール（固定席６９１席）、練習室兼楽屋、楽屋Ａ、楽屋Ｂ等
	渡り廊下（２）	２６.６４	
小計		５，２６６.３９	
その他	アトリエ	２１０.２８	絵画棟、彫刻棟
	クラブハウス	２５２.００	スポーツ施設内
	倉庫棟	２９７.６５	倉庫（４）、車庫兼倉庫（２）
小計		７５９.９３	
合計		６，０２６.３２	

屋外施設

多目的グラウンド	２１，０００㎡
テニスコート	人工芝コート８面
里山、散策路	４９０，０００㎡（借地を含む）
その他の施設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図





利用者の推移

平成20年度入苑者数

施設使用料対応入苑者数	９３，９１４人
推計入苑者数（参考）	１６８，４００人
計	≒２６２，３００人

平成８年度から平成20年度までの累計

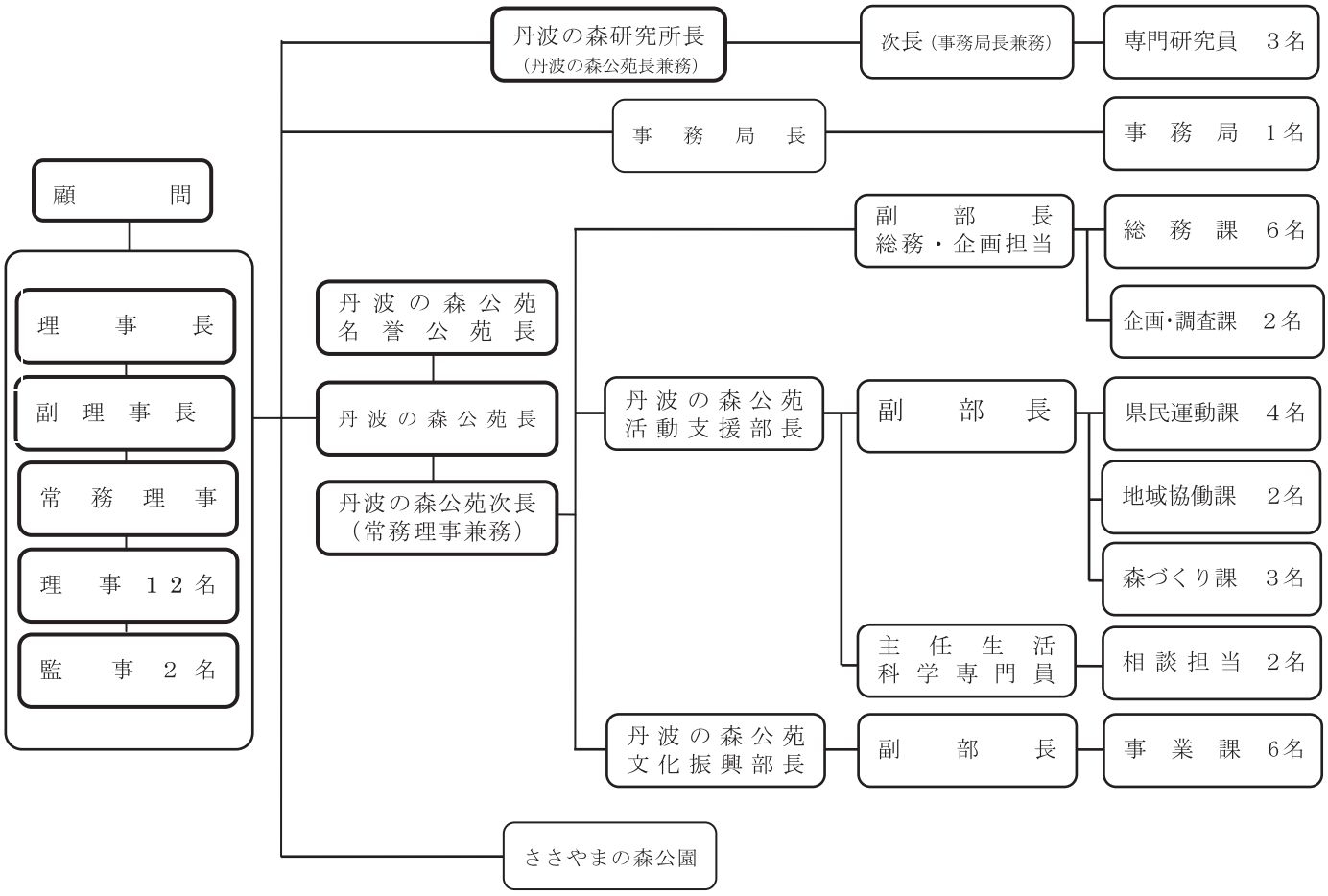
３，１９９，５００人

組織と職員

平成21年３月31日

（１）組　織　図

（財）兵庫丹波の森協会組織図（太枠は役員）



（２）職　員　数

（単位：人）

区　分	事務職	小　計	非常勤嘱託員等		小　計	合　計
協会事務局	2	2	丹波の森研究所長 専門研究員	1 3	4	6
丹波の森公苑	21 （兼 14） ［１］	21 （兼 14） ［１］	名誉公苑長 公苑長 生活情報活動アドバイザー 地域づくり活動サポーター 森づくり活動アドバイザー 芸術村スタッフ 展示・企画スタッフ 宿日直代行員 日々雇用職員 各種団体等雇用職員	1 1 2 1 2 1 1 3 1 6	19	40 （兼 14） ［１］

■　事務職欄の（兼）書きは丹波県民局との兼務職員の内数、事務職欄の［　］書きは市町派遣職員で内数
■　丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長、同次長及び丹波の森研究所長は役員が兼務
■　丹波の森研究所次長は事務局長が兼務

（３）役員・職員配置

[(財)兵庫丹波の森協会]

顧　　問	河合雅雄
理 事 長	辻　重五郎
副理事長	酒井隆明
常務理事	大對信文
常務理事	林　一路
理　　事	荒木幸代
理　　事	内田貞雄
理　　事	大木康次
理　　事	大木　豊
理　　事	荻野美代子
理　　事	小田晋作
理　　事	片寄俊秀
理　　事	木下政夫
理　　事	杉尾吉弘
理　　事	谷口　務
理　　事	中瀬　勲
理　　事	松本正義
監　　事	金野幸雄
監　　事	吉住康之

事務局

事務局長	村上　豊
事 務 員	細見由美子

丹波の森研究所

丹波の森研究所長	（中瀬公苑長兼務）
丹波の森研究所次長	（村上事務局長兼務）
主任専門研究員	重本幸彦
専門研究員	横山宜致
専門研究員	上岡典子

名誉公苑長	河合雅雄
公 苑 長	中瀬　勲
次　　長	林　一路
活動支援部長	西村雅彦
文化振興部長	是川哲秀
副部長（総務企画担当）兼総務課長	足立　保
活動支援部副部長兼森づくり課長	山田貴一
文化振興部副部長兼事業課長	芦田達明
主任生活科学専門員	坂本雅春

総務課

課　　長	（足立副部長兼務）
主　　査	宇野裕美
主　　査	岡田智恵
日々雇用職員	戸田晶子
宿日直代行員	山内一行
宿日直代行員	山根憲明
宿日直代行員	中能慶三

企画・調査課

課　　長	藤原義信
事務吏員	中道裕美

県民運動課

課　　長	山野廣史
青少年指導専門員	八尾滋樹
主　　任	小嶋祐二
地域づくり活動サポーター	方山桂子

地域協働課

課　　長	北条正昭
主　　査	高森直美

相談担当

生活情報活動アドバイザー	西山　和
生活情報活動アドバイザー	田中範子

森づくり課

課　　長	（山田副部長兼務）
主　　査	東　正一
森づくり活動アドバイザー	荻野佐敏
森づくり活動アドバイザー	足立隆昭

事業課

課　　長	（芦田副部長兼務）
文化専門員	谷川直也
文化専門員	足立　均
文化専門員	吉岡靖麿
文化専門員	足立幸謙
展示・企画スタッフ	岸本美鈴
芸術村スタッフ	畑明日香

[丹波の森公苑駐在]

青少年愛護活動推進員	足立吉規
青少年活動推進員	高見由香里
地域協働推進事務嘱託員	近藤康男
地域協働推進事務嘱託員	上本　護
緑のパトロール	稲垣明男
緑のパトロール	近藤行雄

ささやまの森公園　事業報告

一年間の活動の内容をより分かりやすくお伝えするために、２００８年度ささやまの森公園で行った事業１２項目をあげ、「ねらい」や「成果」などについてお知らせいたします。

シューベルティアーデたんば 2008
「里山コンサートⅥ」

◇ねらい

自然環境豊かな里山の中で、来園者に音楽を気軽に楽しむ機会を提供し、自然と文化に親しむ。

◇実施内容

安井邦之氏のオカリナ演奏、柴田光雄氏率いるリコーダーグループとヴォーカルデュオの演奏を聴く。

◇成果（自己評価等）

参加者 67 人

◇翌年度の予定

平成 21 年 9 月 23 日



活動拠点施設「中庭」にてコンサート
（２００８．９．２８）

里山まつり（春･秋）

◇ねらい

春の桜満開の頃と秋の黒枝豆収穫の頃に里山まつりを実施し、来園者に里山と親しんでもらい、ふれあい、交流を持つ。

◇実施内容

ボランティアスタッフや地元住民による体験コーナー、バザー等手づくりイベントを実施した。

◇成果（自己評価等）

参加者　春 950 人　秋 1,167 人

◇翌年度の予定

春 4 月、秋 10 月に開催する。



公園の玄関より秋の里山まつり
（２００８．１０．１２）

ゴールデンウィーク特別企画（5 月 4・5・6 日）

◇ねらい

連休の来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

・どんぐり・まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。

・竹炭や石にかわいらしい絵を描く。

◇成果（自己評価等）

参加者　122 人（4～6 日）

◇翌年度の予定

平成 21 年 5 月 3～6 日



親子で熱心に工作をする
（２００８．５．５）

お盆休み特別企画（8 月 13・14・15 日）

◇ねらい

お盆休みの来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

・篠竹を使い竹笛を作る。

・どんぐり、まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。

・ヒイラギとヒイラギモクセイの葉で葉脈しおりを作る。

・顕微鏡を使ってミクロの微生物や葉脈を観察する

◇成果（自己評価等）

参加者　179 人（13～15 日）

◇翌年度の予定

平成 21 年 8 月 14・15 日



顕微鏡をのぞく参加者
（２００８．８．１５）

里山体験プログラム

◇ねらい
里山や村に残る資料や技術などを利用して、その価値や文化を広く人々に伝承していく。

◇実施内容
こんにゃく、黒豆豆腐、黒豆味噌、草木染め、そば道場、木工体験、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）
29 回実施　参加者　484 人

◇翌年度の予定
同様のプログラムを、年間を通して実施する。



自然の素材を使って時計作りをする参加者（２００８．６．１５）

レクリエーションプログラム

◇ねらい
尾根や谷、渓流にダム湖、高低差のある散策路などで五感を使って自然環境の豊かさを体感する。

◇実施内容
ダッチオーブン料理、深山登山、渓流登り（沢歩き）、グラウンドゴルフ、夜の自然体験、その他

◇成果（自己評価等）
10 回実施　297 人参加

◇翌年度の予定
同様のプログラムを、年間を通して実施する。



ダッチオーブンを使い燻製作りをする参加者（２００８．９．２７）

自然学習プログラム

◇ねらい
参加者に身近な里山の中で体験を通して楽しく学習をしながら、自然環境の関心を高める。

◇実施内容
植物の観察、ハイキング、水生生物の観察、昆虫標本作り、モリアオガエルやホタルの観察、キノコ観察、バードウォッチング、その他

◇成果（自己評価等）
14 回実施　参加者　176 人

◇翌年度の予定
同様のプログラムを、年間を通して実施する。



園内の沢に入り水生生物を探す
参加者（２００８．８．１０）

里山復元プログラム

◇ねらい
放置されて荒れていく里山の森を再び活用するために復元・保全活動をする。

◇実施内容
炭焼き体験（木炭・竹炭）、雑木林の整備、丸太のベンチ作り、シイタケづくり①～③、コケ玉とミニ盆栽作り、その他

◇成果（自己評価等）
14 回実施、参加者　182 人

◇翌年度の予定
同様のプログラムを、年間を通して実施する。



炭材の竹を窯に運び込む参加者
（２００８．７．６）

マツタケ施業

◇ねらい

かつてマツタケの産地として繁栄したこの地域で、マツタケ山を再生して、地域の活性化を図る。

◇実施内容

月に 1〜2 回ボランティアスタッフ有志が公園内のある場所で実際にアカマツ林の整備などを進めている。

◇成果（自己評価等）

平成 20 年 4 月より合計 17 回実施した。

◇翌年度の予定

平成 21 年度も引き続き進める。



講師を招き植菌作業をする活動スタッフ

団体利用活動

◇ねらい

学校や公共・民間、その他の団体の活動や交流の場として公園を提供し、積極的に活用できるようにする。

◇実施内容

ネイチャーゲーム、園内散策、葉脈しおり作り、こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、クラフト、自然観察、間伐体験、巣箱作り、布ぞうり作り、黒豆豆腐作りその他

◇成果（自己評価等）

団体数 67、参加者数 2,061 人

◇翌年度の予定

今後も利用希望の団体があれば、積極的に受けいれる。



園内を南北に流れる沢の上流目指して歩く参者加

団体学校利用活動

◇ねらい

学校の里山授業の一環として学校や公園で里山活動し、いろいろな里山体験を年間通して学習する。

◇実施内容

こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、木工クラフト、自然観察、間伐体験、そば打ち体験、わらぞうり作り、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）

回数 16 回、生徒数 14 人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



わらぞうりを作る生徒と講師

森の学校

◇ねらい

小学校 4 年生から 6 年生を対象に、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に参加者を募り開校する。

◇実施内容

昆虫・植物採集と標本作り、ティーピー作り、夜の自然体験など 2 度にわたる宿泊体験、山菜教室、バードウォッチング、ツリーイング、巣箱作り、間伐体験、和凧作りその他

◇成果（自己評価等）

回数　12 回、生徒数　18 人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する 。



いろいろな自然活動をする生徒達
上：ツリーイング体験　下：間伐体験
（２００８）

プログラム一覧

ア）基本プログラム

①　里山体験班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
山菜教室　～食べて知る、山菜植物の世界～	４月２７日	山菜について学習と試食	３６
草木染め教室 型染め ～あなた色の染めて～	５月２４日	ワラビ･杉皮でミニ風呂敷を染める	１２
里山伝承　～端午の節句～　ちまき作り	６月　８日	ササ･カヤ･イグサでちまきを作る	２７
森の時計作り　～森の時間を刻もう～	６月１５日	間伐材など自然素材で時計を作る	１７
やきもの体験シリーズ　オリジナルカップ　①	６月２２日	公園の土を使って作陶	１６
布ぞうり作り	６月２９日	古布を使ってぞうりを作る	２２
やきもの体験シリーズ　オリジナルカップ　②	７月１３日	絵付けと本焼きをする	１８
草木染め教室 ～藍 Love Summer 夏色に染めよう～	７月２１日	藍の生葉でストールを染める	7
里山体験シリーズ そば道場入門① ～種まき～	８月１７日	種まき作業	１７
やきもの体験シリーズ オリジナルカップを作ろう①　～作陶～	８月２４日	公園の土を使って作陶	１２
やきもの体験シリーズ　オリジナルカップを作ろう②　～絵付け＆本焼き～	９月１４日	絵付けと本焼きをする	１３
草木染め　秋色に染めましょう	１０月　５日	栗のいがなどでＴシャツを染める	9
竹でコウノトリを作ろう	１０月１８日	竹細工でミニコウノトリを作る	8
里山体験シリーズ そば道場入門② ～そば刈り～	１１月　２日	そば刈り作業	１７
やきもの体験シリーズ　癒しの明りとり①	１１月　９日	公園の土を使って作陶	１１
やきもの体験シリーズ　癒しの明りとり②	１１月２３日	絵付けと本焼き	１２
里山体験シリーズ そば道場入門②－１ ～脱穀～	１１月２９日	乾燥したそばの脱穀作業	6
布ぞうり作り	１１月３０日	古布を使ってぞうりを作る	１５
男の料理	１２月２０日	大鍋で豚汁を作る	２４
里山体験シリーズ そば道場入門③ ～そば打ち体験～	１２月２１日	収穫したそば粉でそば打ち体験	２１
手作りでお正月を迎えましょう ～しめ縄作り～	１２月２３日	お正月準備のしめ縄を作る	３３
布ぞうり作り	１月１１日	古布を使ってぞうりを作る	8
黒豆味噌作り　パート１	２月１５日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	２６
黒豆味噌作り　パート２	２月１８日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	１８
こんにゃく作り	２月２２日	こんにゃく芋でこんにゃくを作る	２４
やきもの体験シリーズ 癒しの香炉作り① ～作陶～	３月　８日	公園の土を使って作陶	9
黒豆豆腐作り　１回目	３月１５日	丹波特産の黒豆を使って豆腐を作る	１４
黒豆豆腐作り　２回目	３月１５日	丹波特産の黒豆を使って豆腐を作る	２３
やきもの体験シリーズ 癒しの香炉作り② ～絵付けと本焼き～	３月２２日	絵付けと本焼き	9
計	２９回		４８４

②　レクリエーション班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
ダッチオーブン料理教室 ～ダッチ DE 料理しよー！～	４月１９日	ダッチオーブンで野外料理を作る	３２

第１０回グラウンドゴルフ大会	４月２３日	ささやまの森公園杯争奪	３０
深山登山　～新緑の「深山」に登ろう～	５月１７日	新緑の深山へ登山をする	６２
森のリラクゼーション ～森の中で癒し体験～	６月　１日	森の中でリフレッシュ体験	3
ささやまの森探検隊	７月１３日	源流をめざして沢歩きをする	３７
夜の自然体験　～夜の生きもの、こんばんは～	７月２６日	夜の散策路をハイキングする	２１
ダッチで燻製しょー　～初めての燻製入門～	９月２７日	ダッチオーブンで燻製を作る	４５
第１１回グラウンドゴルフ大会	１１月１１日	ささやまの森公園杯争奪	２３
深山登山　～黄葉の深山に登ろう～	１１月２２日	黄葉の深山へ登山をする	２７
深山登山　～冬の深山に登ろう～	１月２４日	冬の深山へ登山をする	１７
計	１０回		２９７

③　自然学習班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の自然を楽しもう！	４月２６日	ツツジの咲く園内で自然観察をする	9
バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～	５月　３日	オオルリなどの野鳥の観察をする	１５
モリアオガエルとホタルの観察	６月　７日	夜の生き物の観察をする	２０
モリアオガエルの観察会	６月２１日	モリアオガエルの卵の観察をする	9
昆虫標本作り	７月２０日	昆虫観察と標本を作る	１３
植物標本作り	７月２６日	植物観察と標本を作る	4
水辺の生きものを探そう	８月１０日	渓流に棲む生きもの観察をする	１２
秋の夜　虫の声を聞き分けよう	９月　６日	夜の鳴く虫の観察をする	１６
秋のきのこウォッチング	１０月２６日	園内のきのこを観察する	１１
秋の自然を楽しもう！	１１月　２日	木の実など園内で自然観察をする	１１
バードウォッチング	１２月１３日	カマガラなどの野鳥を観察する	１８
手づくり凧に挑戦しよう	１月１８日	竹ひご・和紙で和凧を作る	１０
冬の自然を楽しもう！	２月１４日	生き物の足跡や冬ごもりを観察する	１１
バードウォッチング	３月　１日	早春の園内で野鳥を観察する	１７
計	１４回		１７６

④　里山復元班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
癒しの灯りを作ろう	４月２０日	間伐材で電気スタンドを作る	１７
小さな森作り	５月１８日	植物の苗木を鉢に寄せ植えをする	１０
里山活用シリーズ　丸太のベンチ作り①	５月２５日	原木伐採・皮むき・玉伐り作業	１３
里山活用シリーズ 炭焼き体験①　～竹伐りと竹割り～	６月１４日	炭材の竹伐り・竹割り作業	9
里山活用シリーズ 炭焼き体験② ～炭焼き～	７月　６日	竹炭材の窯入れ作業	１３
巣箱作り	８月　９日	実用的な巣箱を作る	１１
里山活用シリーズ 丸太のベンチ作り②　～ベンチ作り～	９月２１日	マイベンチを作る	２２
コケ玉とミニ盆栽作り	１０月１９日	植物の苗でコケ玉・ミニ盆栽を作る	１７
里山活用シリーズ　シイタケづくり① ～原木伐採とシイタケの話～	１１月１５日	原木伐採とシイタケの話	１９
アカマツ林を育てよう	１１月２９日	アカマツ林で除伐・腐葉土取り作業	4
里山活用シリーズ　シイタケづくり② ～ほだ木作り～	１２月１４日	原木の玉伐り・ほだ木を作る	１４
雑木林を育てよう	１月１０日	雑木林の除伐・間伐作業	5

炭焼き体験　～木炭作り～	２月２８日	竹炭の窯出しと木炭材の窯入れをする	１６
里山活用シリーズ　シイタケづくり③ ～菌打ち～	３月　８日	植菌作業	１２
計	１４回		１８２

イ）特別プログラム

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の里山まつり	４月１３日	体験コーナー・バザー　他	９９０
ＧＷ特別企画　トールペイント	５月　４日	石や炭に絵を描く	２７
ＧＷ特別企画　木工クラフト	５月　４日	ガリガリトンボを作る	１７
ＧＷ特別企画　木工クラフト	５月　５日	篠竹を使って竹笛を作る	２５
ＧＷ特別企画　木工クラフト	５月　５日	木の実や枝を使って森の動物を作る	３１
ＧＷ特別企画　木工クラフト	５月　６日	木の実や枝を使って森の動物を作る	３２
お盆休み特別企画　木工クラフト	８月１３日	木の実や枝を使って森の動物を作る	２８
お盆休み特別企画　木工クラフト	８月１４日	木の実や枝を使って森の動物を作る	４２
お盆休み特別企画　葉脈しおり作りと顕微鏡でミクロの世界をみよう	８月１５日	葉脈しおり作りと顕微鏡で観察をする	１１７
里山コンサートⅥ	９月２８日	オカリナ演奏・ヴォーカルデュオ	６７
秋の里山まつり	１０月１２日	体験コーナー・バザー　他	１２００
河合雅雄先生　講演会	３月１４日	演題「アフリカ調査　こぼれ話」	５５
計	１０回		２６３１

ウ）団体プログラム

プログラム内容別利用団体・参加者数

内容	団体数	参加者数	内容	団体数	参加者数
園内散策	２８	８０６	布ぞうり作り	1	8
自然観察	6	２４７	山菜教室	1	１８
黒豆豆腐作り	1	１０	巣箱作り	1	７０
間伐体験	4	６９	ボランティア活動	3	６３
沢登り	2	５２	会議	2	３０
木工クラフト	5	１５９	ネイチャーゲーム	1	２３
葉脈しおり作り	3	１１１	こんにゃく作り	2	２５
映画撮影	1	２００	草木染め	1	１４
沢遊び	2	８１	リース作り	1	１６
ダッチオーブン料理	2	５９	森の学校	１２	３０２
			計	７９	２３６３

エ）会議その他

月日	事業名	事業内容	参加者数
４月　３日	植物誌構成	植物誌発行に向けての構成	1
４月２６日	自然学習班会議	７～９月新プログラム案企画会議	4
４月２６日	里山体験班・レクリエーション班合同会議	７～９月新プログラム案企画会議	7
４月２９日	里山復元班会議	７～９月新プログラム案企画会議	5
４月中	プログラム準備	春の里山まつり準備　その他（１０回）	４０

４月中	団体準備	草木染め煮出し・山菜下見（２回）	4
４月中	森守ＤＡＹ	森守の小屋屋根延長作業（３回）	１０
４月中	レンガ窯プロジェクト	レンガ窯作り（２回）	１６
４月中	あらし班活動	田んぼのすき作業（２回）	１２
５月　３日	リーダー会	７～９月新プログラム企画調整会議	2
５月　３日	旋盤作業	グラウンドゴルフ優勝カップ作り	2
５月１１日	活動スタッフ総会	H19 年度活動報告・H20 年度活動計画・クリーン作戦	３６
５月１８日	野鳥観察小屋プロジェクト	猪ノ谷の野鳥観察小屋周辺清掃	5
５月中	プログラム準備	丸太のベンチ材料準備・草木染め試作その他（４回）	１５
５月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	5
５月中	森守ＤＡＹ	森守の小屋屋根延長作業（３回）	6
５月中	レンガ窯プロジェクト	レンガ窯作り（５回）	１９
６月　１日	昆虫標本講習会	昆虫標本の作り方を講習する	6
６月　８日	あらし班作業	黒豆の種植え作業	5
６月１２日	マツタケ施業	実地作業	2
６月１９日	運営協議会	Ｈ１９収支・事業報告、Ｈ２０事業計画	１９
６月中	プログラム準備	炭焼き体験の竹伐り作業・森の時計作り試作その他（５回）	１７
６月中	森守ＤＡＹ	ワサビ植え作業･ツリーハウス窓作り（３回）	6
６月中	レンガ窯プロジェクト	レンガ窯作り（３回）	１９
７月１０日	マツタケ施業	実地作業	1
７月１２日	里山復元班会議	１０～１２月新プログラム案企画会議	6
７月２０日	自然学習班会議	１０～１２月新プログラム案企画会議	4
７月２１日	里山体験班会議	１０～１２月新プログラム案企画会議	7
７月２６日	レクレーション班会議	１０～１２月新プログラム案企画会議	4
７月２７日	西谷の森公園開園イベント	葉脈しおり作りで参加	4
７月中	プログラム準備	昆虫標本作り材料作り・巣箱作り試作その他（３回）	8
７月中	団体準備	葉脈しおり用の葉処理作業（２回）	2
７月中	森守ＤＡＹ	ツリーハウス窓作り（３回）	4
７月中	あらし班	草刈・土寄せ・小豆種まき（３回）	5
８月　７日	植物調査	ベニバナヤマシャクヤク調査	1
８月　８日	リーダー会	１０月～１２月プログラム企画調整会議・その他	5
８月　８日	あらし班	南瓜撤収作業・草刈作業	4
８月１６日	ささやまデカンショ祭り	木工クラフトをする	5
８月３１日	団体準備	森の学校ツリーイング活動準備	5
８月中	プログラム準備	オリジナルカップ･丸太のベンチ作り材料作り（２回）	9
８月中	森守ＤＡＹ	ツリーハウス窓作り（２回）	4
９月　９日	あらし班	草刈作業	5
９月１１日	マツタケ施業	実地作業	2
９月中	プログラム準備	男の料理打ち合わせ・秋の里山まつり準備その他（４回）	１３
９月中	団体準備	篠山産業高校丹南校わらぞうり･オブジェ試作（２回）	6
９月中	森守ＤＡＹ	ツリーハウス窓作り・森の動物作り（５回）	１１
１０月１６日	団体準備	栗蒸しまんじゅう試作	1
１０月１８日	里山体験班会議	１月～３月新プログラム案企画会議	6
１０月１８日	里山復元班会議	１月～３月新プログラム案企画会議	3
１０月２５日	レクレーション班会議	１月～３月新プログラム案企画会議	1
１０月中	プログラム準備	癒しの明かりとり試作･葉脈しおり準備その他（９回）	２６
１０月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	3
１０月中	森守ＤＡＹ	森の動物作り・ツリーハウス窓作り（２回）	2

１１月　１日	レンガ窯焼成実習	焼成についての実習	4
１１月　２日	自然学習班会議	１月～３月新プログラム案企画会議	2
１１月　３日	ふるさとの森公園イベント	人と自然の博物館のイベント参加（葉脈しおり作り）	4
１１月　６日	イベント準備	葉脈しおり準備	1
１１月　９日	丹波の森公苑イベント	葉脈しおり作りで参加	2
１１月　９日	福住祭イベント	木工クラフトで参加	2
１１月１４日	リーダー会	１月～３月新プログラム企画調整会議・その他	3
１１月１５日	あらし班	鹿除けの網張り	3
１１月１６日	活動スタッフ研修旅行	海洋博物館・神戸森林植物園を見学	２６
１１月１８日	散策路看板付け	公園内各地看板設置作業	1
１１月２３日	レンガ窯完成式	レンガ窯の初焼き・完成式	7
１１月２４日	お楽しみプログラム	レンガ窯の薪作りとピザ焼き	9
１１月２６日	猪谷荘建設工事	猪谷荘建設作業	9
１１月中	プログラム準備	布ぞうり・男の料理・クリスマスリース各試作（３回）	１１
１１月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	5
１１月中	森守ＤＡＹ	ツリーハウス修理・チェーンソーアート試作（４回）	7
１２月　５日	団体準備	草木染め煮だし作業	2
１２月１０日	散策路看板設置	深山付近看板設置作業	1
１２月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	5
１２月中	森守ＤＡＹ	巣箱材製材作業（２回）	4
１２月中	正月準備	公園の門松・歳徳神材料準備（２回）	2
１月　８日	散策路看板設置	深山登山経路看板付け	1
１月１０日	里山復元班会議	４～６月新プログラム案企画会議	5
１月１７日	里山体験班・リクレーション班合同会議	４～６月新プログラム案企画会議	4
１月２５日	自然学習班会議	４～６月新プログラム案企画会議	4
１月２５日	ツリーイング活動打ち合わせ	今後の活動について	1
２月　１日	ボランティアスタッフ交流会	なか・やちよの森公園にて	4
２月１１日	リーダー会	４～６月新プログラム企画調整会議・その他	4
２月１１日	防災訓練	消火・誘導訓練	4
２月中	プログラム準備	里山まつり炭アート準備・炭焼き窯火入れ（２回）	１１
２月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	5
３月　８日	木工旋盤実演会	木工旋盤の使い方実演･実習	9
３月１０日	幹事会	Ｈ２０事業実施報告・Ｈ２１事業計画	8
３月２４日	運営協議会	Ｈ２０事業実施報告・Ｈ２１事業計画	１８
３月２６日	散策路看板設置	深山登山経路看板付け	1
３月２９日	アカゲラ巣箱作り	アカゲラ巣箱製作	2
３月中	プログラム準備	チェーンソーアート製作・炭焼き体験（６回）	１２
３月中	マツタケ施業	実地作業（２回）	6
計			６３１

活動・施設利用一覧

平成２０年４月１日～平成２１年３月３１日

月　日	主　な　事　項	会　　場
平成２０年４月		
13	プログラム「春の里山まつり」	ささやまの森公園
15	さくらんぼ来園	ささやまの森公園
	山鳥病院来園	ささやまの森公園
	風和来園	ささやまの森公園
16	さくらんぼ来園	ささやまの森公園
17	篠山産業高等学校 丹南校　～草木染め教室～	篠山産業高等学校 丹南校
	寝屋川市自然資料施設運営スタッフ来園	ささやまの森公園
18	さくらんぼ来園	ささやまの森公園
19	プログラム「ダッチオーブン料理教室　～ダッチｄｅ料理しよー！～」	ささやまの森公園
20	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
	篠山自然の会来園	ささやまの森公園
	篠山市野外生活推進協議会来園	ささやまの森公園
22	さくらんぼ来園	ささやまの森公園
23	プログラム「ささやまの森公園杯争奪 第10回グラウンドゴルフ大会」	ささやまの森公園
	さくらんぼ来園	ささやまの森公園
24	篠山産業高等学校　丹南校　～山菜教室～	ささやまの森公園
26	プログラム「春の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
27	プログラム「山菜教室　～食べて知る、山菜植物の世界～」	ささやまの森公園
	少林寺拳法篠山北道院来園	ささやまの森公園
５月		
1	篠山産業高等学校　東雲校来園	ささやまの森公園
	篠山産業高等学校　丹南校　～こんにゃく作り～	篠山産業高等学校　丹南校
3	プログラム「バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～」	ささやまの森公園
4	ＧＷ特別企画「木工クラフト　～ガリガリトンボを作ろう～」	ささやまの森公園
	ＧＷ特別企画「トールペイント」	ささやまの森公園
5	ＧＷ特別企画「木工クラフト　～木の実で森の動物を作ろう～」	ささやまの森公園
	ＧＷ特別企画「木工クラフト　～竹笛作り～」	ささやまの森公園
6	ＧＷ特別企画「木工クラフト　～木の実で森の動物を作ろう～」	ささやまの森公園
8	県立芦屋国際中等教育学校来園	ささやまの森公園
10	森の学校　～開校式・オリエンテーション～	ささやまの森公園
11	はじめの一歩来園	ささやまの森公園
17	プログラム「深山登山　～新緑の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
18	プログラム「小さな森作り」	ささやまの森公園
	宇土子供会来園	ささやまの森公園
19	ささやまの森公園維持管理協議会来園	ささやまの森公園
23	篠山東中学校　トライやるウィーク来園	ささやまの森公園
24	プログラム「草木染め教室　型染め　～あなた色に染めて～」	ささやまの森公園
	上新子ども会来園	ささやまの森公園
25	プログラム「丸太のベンチ作り①　～原木伐採～」	ささやまの森公園

	篠山自然の会来園	ささやまの森公園
27	城東公民館来園	ささやまの森公園
28	篠山市中学校教頭会来園	ささやまの森公園
29	篠山産業高等学校　丹南校　～間伐体験～	ささやまの森公園
	生活介護支援センターでかんしょ来園	ささやまの森公園
31	篠山市八上小学校２年生親子活動来園	ささやまの森公園
６月		
1	プログラム「森のリラクゼーション　～森の中で癒し体験～」	ささやまの森公園
3～７	篠山市立篠山東中学校トライヤルウィーク来園	ささやまの森公園
7	プログラム「モリアオガエルとホタルの観察会」	ささやまの森公園
	森の学校　～山菜教室とバードウォッチング～	ささやまの森公園
8	プログラム「里山伝承　～端午の節句～　ちまき作り」	ささやまの森公園
10～13	篠山市デイサービスセンター来園	ささやまの森公園
14	プログラム「里山活用シリーズ　炭焼き体験①　～竹伐採と竹割り～」	ささやまの森公園
15	プログラム「森の時計作り　～森の時間を刻もう～」	ささやまの森公園
19	篠山産業高等高校　丹南校　～黒豆豆腐作り～	篠山産業高校　丹南校
21	プログラム「モリアオガエルの観察会」	ささやまの森公園
22	プログラム「オリジナルカップを作ろう①　～作陶～」	ささやまの森公園
26	篠山産業高等学校　丹南校 ～ダッチオーブン料理とモリアオガエルの観察～	ささやまの森公園
29	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
	ＪＵＯＮ来園	ささやまの森公園
７月		
2	映画撮影来園	ささやまの森公園
5～6	森の学校　～昆虫標本作り～	ささやまの森公園
6	プログラム「炭焼き体験②　～炭焼き竹炭～」	ささやまの森公園
12	亀岡親子劇場来園	ささやまの森公園
13	プログラム「オリジナルカップを作ろう②　～絵付け＆本焼き～」	ささやまの森公園
	プログラム「ささやまの森探検隊 ～ささやまの森公園の知られざる秘境地帯をゆく～」	ささやまの森公園
14	映画撮影来園	ささやまの森公園
19	篠山市立日置小学校開放学級来園	ささやまの森公園
	市民の輪いこま来園	ささやまの森公園
20	プログラム「夏休み宿題お助け企画　～昆虫標本作り～」	ささやまの森公園
23	篠山支特別支援学級・養護学級来園	ささやまの森公園
24	中町障害者団体来園	ささやまの森公園
25	ささやま子育てふれあいセンター来園	ささやまの森公園
26	プログラム「夏休み宿題お助け企画　～植物標本作り～」	ささやまの森公園
	プログラム「夜の自然体験　～夜の生きもの、こんばんは～」	ささやまの森公園
27	日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園
29	京都中丹養護学校中等部来園	ささやまの森公園
31	桜守の会来園	ささやまの森公園
８月		
2	森の学校　～植物標本作り・ささやまの森探検隊～	ささやまの森公園
2～3	ＪＵＯＮ来園	ささやまの森公園
3	日本ボーイスカウト篠山第１団来園	ささやまの森公園
5	鴨庄ふれあい教室来園	ささやまの森公園

6	篠山市幼稚園教育会来園	ささやまの森公園
9	プログラム「草木染め教室　～藍Love Summer 夏色に染めよう～」	ささやまの森公園
	プログラム「夏休み宿題お助け企画　～巣箱作り～」	ささやまの森公園
10	プログラム「水辺の生きものを探そう」	ささやまの森公園
13	お盆休み特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
14	お盆休み特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
15	お盆休み特別企画「葉脈しおり＆顕微鏡でミクロの世界をみよう」	ささやまの森公園
17	プログラム「そば道場入門①　～種まき～」	ささやまの森公園
19～20	森の学校　～ティーピー作り・竹の食器作り・夜の自然体験・水辺の生き物を探そう～	ささやまの森公園
19～20	篠山東中学校新任職員研修来園	ささやまの森公園
21	篠山市立八上小学校区たけのこ・そらいろ学級来園	ささやまの森公園
24	プログラム「オリジナルカップを作ろう①　～作陶～」	ささやまの森公園
29	里山和楽会来園	ささやまの森公園
９月		
4	篠山産業高等学校　丹南校　～つる細工～	篠山産業高等学校　丹南校
6	プログラム「秋の夜　虫の声を聞き分けよう」	ささやまの森公園
	森の学校　～ツリーイング・巣箱作り～	ささやまの森公園
12	ＫＷＶＯＢＡ来園	ささやまの森公園
14	プログラム「オリジナルカップを作ろう②　～絵付け＆本焼き～」	ささやまの森公園
17	ＣＳＲ事業連絡協議会	ささやまの森公園
	みちくさ来園	ささやまの森公園
18	篠山産業高等学校　丹南校　～わらぞうり作り～	篠山産業高等学校　丹南校
21	プログラム「丸太のベンチ作り②　～ベンチ作り～」	ささやまの森公園
24	西紀老人クラブ来園	ささやまの森公園
25	篠山産業高等学校　丹南校　～動物のオブジェ作り～	ささやまの森公園
27	プログラム「ダッチｄｅ燻製しよー　～初めての燻製入門～」	ささやまの森公園
28	プログラム「里山コンサートⅥ」	ささやまの森公園
	尼崎鹿児島県民会来園	ささやまの森公園
１０月		
2	篠山産業高等学校 丹南校　～すすきのフクロウを作ろう～	篠山産業高等学校　丹南校
4	森の学校　～間伐体験・木工クラフト～	ささやまの森公園
5	プログラム「草木染め教室　～秋色に染めましょう～」	ささやまの森公園
9	亀岡市立大井小学校来園	ささやまの森公園
	篠山市立篠山東中学校来園	ささやまの森公園
12	プログラム「秋の里山まつり」	ささやまの森公園
15	篠山市教育研究会来園	ささやまの森公園
18	プログラム「竹でコウノトリを作ろう」	ささやまの森公園
19	プログラム「コケ玉とミニ盆栽作り」	ささやまの森公園
	黒豆の学校来園	ささやまの森公園
21	篠山産業高等学校　丹南校　～竹とんぼ作り～	篠山産業高等学校　丹南校
23	篠山産業高等学校　丹南校　～栗蒸まんじゅうと自然観察～	ささやまの森公園
25	日本災害救援ボランティアネットワーク来園	ささやまの森公園
26	プログラム「秋のきのこウォッチング」	ささやまの森公園
１１月		
1	森の学校　～深山へ木の名前を覚えるハイキングと自然観察～	ささやまの森公園

	2	プログラム「そば道場入門②　～そば刈り～」	ささやまの森公園
		プログラム「秋の自然を楽しもう」	ささやまの森公園
	3	多紀文化祭イベント	篠山市ハートピアセンター
		ふるさとの森公園「人博フェスティバル」イベント	人と自然の博物館
	9	プログラム「癒しの明かりとり①」	ささやまの森公園
		丹波の森公苑イベント	丹波の森公苑
		福住祭イベント	篠山産業高等学校　東雲校
	11	プログラム「ささやまの森公園争奪　第11回グラウンドゴルフ大会」	ささやまの森公園
	13	篠山産業高等学校　丹南校　～ドングリについての学習～	篠山産業高等学校　丹南校
	15	プログラム「シイタケづくり①　～シイタケの話と原木伐採～」	ささやまの森公園
		石刎子ども会来園	ささやまの森公園
	16	日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園
	22	プログラム「深山登山　～黄葉の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
	23	プログラム「癒しの明かりとり②　～絵付け＆本焼き～」	ささやまの森公園
	27	篠山産業高等学校　丹南校　～しめ縄作り～	ささやまの森公園
		篠山産業高等学校　丹南校教育推進委員会来園	ささやまの森公園
	28	城東公民館来園	ささやまの森公園
	29	プログラム「アカマツ林を育てよう」	ささやまの森公園
		プログラム「そば道場入門②－１　～そばの脱穀～」	ささやまの森公園
	30	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
１２月			
	3	ＨＮＷＶクラブ来園	ささやまの森公園
	6	森の学校　～クリスマスリース作り～	ささやまの森公園
	7	丹波の森公苑　里山倶楽部来園	ささやまの森公園
		日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園
	11	丹波の森　花くらぶ来園	ささやまの森公園
	13	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
	14	プログラム「シイタケづくり②　～ほだ木作り～」	ささやまの森公園
	17	社会福祉法人ＮＡＧＯＭＩ来園	ささやまの森公園
	20	プログラム「男の料理」	ささやまの森公園
	21	プログラム「そば道場入門③　～そば打ち体験～」	ささやまの森公園
	23	プログラム「手作りでお正月を迎えましょう　～しめ縄作り～」	ささやまの森公園
平成２０年１月			
	10	プログラム「雑木林を育てよう」	ささやまの森公園
		森の学校　～和凧作り～	ささやまの森公園
	11	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
	15	篠山産業高等学校　丹南校　～そば打ち体験～	篠山産業高等学校　丹南校
	18	プログラム「手づくり凧に挑戦しよう」	ささやまの森公園
	22	篠山産業高等学校　丹南校　～シカ肉料理教室～	篠山産業高等学校　丹南校
	24	プログラム「深山登山　～冬の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
	25	篠山自然の会来園	ささやまの森公園
	27	社会福祉法人ＮＡＧＯＭＩ来園	ささやまの森公園
２月			
	7	森の学校　～冬の自然ウォッチング～	ささやまの森公園
	14	プログラム「冬の自然を楽しもう」	ささやまの森公園
	15	プログラム「黒豆味噌作り　Part１」	ささやまの森公園

18	プログラム「黒豆味噌作り　Part２」	ささやまの森公園
20	ＪＡ女性会来園	ささやまの森公園
22	プログラム「こんにゃく作り」	ささやまの森公園
24	社会福祉法人ＮＡＧＯＭＩ来園	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験　～木炭作り～」	ささやまの森公園

３月

1	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
7	森の学校　～終了式・文集作り～	ささやまの森公園
8	プログラム「シイタケ作り③　～菌打ち～」	ささやまの森公園
8	プログラム「癒しの香炉づくり①　～作陶～」	ささやまの森公園
14	プログラム「河合雅雄先生講演会　～アフリカ調査　こぼれ話～」	ささやまの森公園
15	プログラム「黒豆豆腐作り　第１回目」	ささやまの森公園
	プログラム「黒豆豆腐作り　第２回目」	ささやまの森公園
17	社会福祉法人ＮＡＧＯＭＩ来園	ささやまの森公園
22	プログラム「癒しの香炉づくり②　～絵付け＆本焼き～」	ささやまの森公園

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

平成２１年３月３１日現在

区　分	氏　　名	職　名　・　所　属　等	
学識経験者	河　合　雅　雄	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 丹波の森公苑名誉公苑長	会　長
	永　吉　照　人	兵庫県生物学会元会長 兵庫県立大自然環境科学研究所元教授	副会長
	八　木　剛	兵庫県立人と自然の博物館主任研究員	
地元代表	細　見　弘　志	地元福住地区総代会長	副会長
	森　田　悟	地元川原自治会会長	
	降　矢　太　刀　雄	地元大字福住地区代表	
市関係	畑　中　寿　次	篠山市多紀支所長	
	森　岡　武	篠山チルドレンズミュージアム館長	
	中　尾　俊　子	篠山市立城東公民館社会教育指導員	
教育関係	河　南　秀　和	篠山市教育委員会教育長	
	木　村　壽　彦	丹波市教育委員会教育長	
	久　木　茂　昭	兵庫県立篠山産業高等学校東雲校教頭	
	原　田　健　一	兵庫県生物学会会員・伊丹市立高等学校教諭	
	臼　井　正　博	篠山市立大芋小学校教諭	
自然・環境活動関係	足　立　勲	自然体験研究所長・関西学院大学非常勤講師 兵庫県自然保護指導員	副会長
	竹　内　正　義	篠山自然の会	
	脇　塚　陸	ひょうご森のインストラクター	
	近　成　つ　た　子	丹波の森花くらぶ	
	芦　田　正　章	丹波自然友の会	
活動スタッフ代表	杉　田　弘　治	地元活動スタッフ代表	
	森　田　守　二	地元活動スタッフ代表	
	辻　本　哲	活動スタッフリーダー	
	山　崎　和　美	活動スタッフリーダー	

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれた草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

プログラム		主な内容
里山体験	①工作 ③食材・料理 ④体験農業	つる細工、しめ縄、巣箱、葉脈しおり、木工、リース、草木染め 山菜料理、豆腐、味噌、餅、田舎料理、こんにゃく、そば 丹波黒豆、山の芋、そば、野菜等
自然学習	①環境学習 ②生態学習 ③保全学習	植生、水生昆虫、ビオトープ、水鳥、野鳥 里山自然林の動植物、両生類、魚類、昆虫 里山森林保全、谷川の清流、原生林の植生、湿地の植生
レクリエーション	①ハイキング ②ゲーム ③みどころ巡り	深山コース、府県境コース、胎内こぐりコース、源流探検 ネイチャーゲーム、ネイチャーテイリング 胎内こぐり、天然記念物「沙羅の木」、蛇岩、かくし田
里山復元	①里山総合学習 ②里山総合体験 ③里山総合利用	樹種学習、植生調査、森林生態、森林科学、森林経済 間伐、枝打ち、きのこ栽培、堆肥作り、植林 炭焼き、木材利用、水車作り、ログハウス建築

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

総合的な学習の展開に適したプログラムを約２０種類用意し、学校や子供会の要望に応じています。

■イベント

春の里山まつり・秋の里山まつり・里山音楽会・講演会等、年に数回のイベントを実施しています。

沿革

ささやまの森公園の設置

１　設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外ＣＳＲ事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用したプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

２　沿　革

・平成１４年　４月　１日　　兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
・平成１４年　４月　４日　　活動拠点施設開所式
・平成１４年　７月　６日　　ログ小屋完成
・平成１４年　７月２１日　　開園式典
・平成１５年　５月１７日　　杣小屋完成
・平成１６年　３月３１日　　１０号作業道・１２号歩道（木の実の散策路）完成
・平成１６年　６月　１日　　竹の館完成
・平成１７年　３月３１日　　１３号歩道・１４号歩道・１５号歩道（湖上の散策路）完成
・平成１８年　３月３１日　　１６号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
・平成１８年１０月　８日　　森守の小屋完成
・平成１９年　４月１５日　　開園５周年記念式典
・平成１９年　４月１５日　　万兎の森第１期工事完成
・平成１９年１１月１０日　　炭焼き小屋と杣小屋の屋根延長工事完成
・平成２０年　３月１５日　　万兎の森第２期工事完成
・平成２０年１１月２３日　　レンガ窯「ささもり窯」の完成
・平成２０年１１月２６日　　野鳥観察小屋完成
・平成２１年　３月１０日　　万兎の野草園造成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

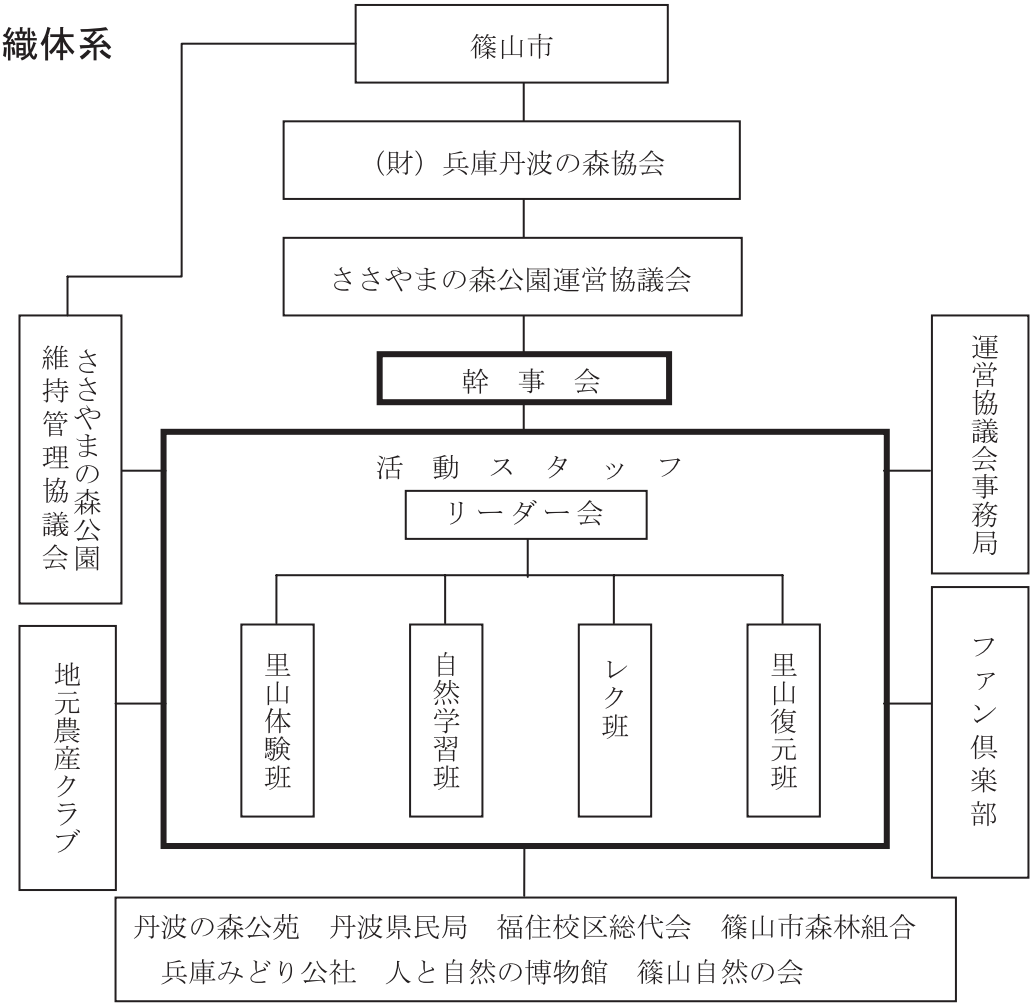
活動拠点施設の位置する谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は２５５haに及び、人工林３０％自然林７０％が広がる。

なお、利用者は、平成１４年度１３，３１２人、平成１５年度１７，３５５人、平成１６年度１８，３６４人、平成１７年度１７，８８５人、平成１８年度２０，１３１人、平成１９年度１９，３１９人、平成２０年度１８，４３４人　累計　**１２４，７９６人**です。

名　　称	内　　容
活動拠点施設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
クリ林の園地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
水辺の広場	渓流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
こもれびの園地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
モリアオガエルの池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
炭焼き窯	直径1.8mの本格的な炭焼き窯
杣小屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ログ小屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
散策路	湖岸の散策路・赤松の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実散策路・湖上の散策路等全長１２．６４０ｋｍ整備
駐車場	林間駐車場（４６台）・施設前駐車場（６台）・臨時駐車場（５０台）
竹の館	木工材料の乾燥・保管場所(４×１０ｍ）活動スタッフが間伐材を利用して建築
森守の小屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建設
ハイキング道	尾根に全長１０ｋｍのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
万兎の森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万兎の野草園	野草の盗掘を防ぐため石庭形式にし、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
果樹園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
ビオトープ池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
野鳥観察小屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋（１６㎡　）が完成
レンガ窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした

組織と職員

（１）組織体系



■太枠の活動スタッフと幹事会（若干名）は、ボランティアの活動スタッフ。
■幹　事　会：ささやまの森公園運営協議会と活動スタッフより各々の若干名で組織し両者の調整を行う。
■ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制での応募者。
■活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

（２）職　員（運営協議会事務局）

担　当	氏　名
公園長兼事務局長	樋　口　清　一
総　務　担　当	阿　部　　操
森　づ　く　り担当	酒　井　正　治
プ　ロ　グ　ラ　ム担当	長　井　吉　広
事　務　員	藤　原　一　美
事　務　員	森　田　朋　子

（３）ボランティア活動スタッフ名簿

里山体験班	野中陸子	原田優
足立忠士	秦信夫	
荒井堯子	秦有理子	**里山復元班**
荒井裕	樋口初美	入江まつ子
上西三郎	牧野英郎	上田宏
梅垣修平	森田愛子	大野直明
梅垣伸行	森田美佐代	岡野弘明
梅垣玲子	山口祐助	小賀野章利
大石エミ子	山崎和美	加藤隆
大石一夫	山取純子	金井拓男
大久保紀三	山鳥吉子	金子武夫
岡田照代		神原勝彦
岡野誠三	**自然学習班**	小山雅充
小賀野文代	泉靖子	杉田弘治
金丸一	大塚剛二	諏訪田知敬
杉田和代	大塚千鶴子	田代善彌
杉田貞子	田井彰人	辻本哲
高田眞里	高山謙輔	坪井忠
高山亮子	谷口次男	土居徹次郎
竹内正義	畑中美智子	禰屋壯吉
竹内美由紀	森西康光	橋本せい子
近成つた子		平田春芳
中島章雄	**レクリエーション班**	福島宏行
中島紀子	青木美子	藤村恵道
西井珠実	市村祐高	村上寿太郎
西村美代子	小島啓介	森田守二
野中烈	杉田和博	脇塚陸

調査研究報告

丹波地域　集落活性化の道すじ

丹波の森研究所は、平成18～20年度に「丹波地域集落活性化戦略調査」を実施しました。これは、人口の減少や高齢化、農地や山林の荒廃などの傾向が見られる中で、住民や行政関係者などが力を合わせて、集落の維持・活性化に取り組む際の「道すじ（参考となる指針）」として作成したものです。調査にあたっては、地域の住民やリーダーなどへのアンケート調査やヒアリング、行政関係者へのヒアリングを行い、学識経験者などからも助言・指導を受けました。概要をご紹介します。

1　集落活性化の意義

農村地域（多自然居住地域）に点在する集落を活性化することは、住民の暮らしを改善するとともに、自然豊かな国土の保全、米・野菜をはじめとする農林産物の安定的な供給に貢献し、さらに長い歴史の中で育まれてきた伝統的な文化や知恵の継承に寄与するなど、きわめて重要な意義をもっています。もし集落が消えていけば、日本の自然的な環境や地域の文化が崩壊していくでしょう。

一方、①安全な食料の確保や森林環境の保全育成への関心が高まるなど、農林業への国際的な追い風が見られること、②田舎を訪れ、住みたいという、都市住民に田園志向が見られること、③地元で採れた新鮮で安心できる食材を食べたい（地産池消）という、地元消費者の意識が変化していることなど、集落活性化を進めていくための環境が整ってきているとも言えます。

2　集落の現状と活性化に向けた課題

「限界集落」は、一般的に「65 歳以上の住民比率が 50%以上の集落」を呼んでいます。このような限界集落は、丹波地域には、現在のところほとんどありません。しかし、今後、限界集落になっていく可能性のある“候補”はかなり存在することから、それぞれの集落に元気のある今から、住民の皆さんが中心になって、集落の活性化に取り組んで行くことが期待されます。

丹波地域の集落は、大きく「農業系集落」「町型集落」「住宅集落」に分類できます。

＜農業系集落（純農業（純農村）集落＋農住混合集落）＞

農業系集落は、若者の流出が進み、人口の減少と高齢化が進んでいること、兼業化が進み、集落に居住することの必要性が低下したことが、集落の存続を左右する要因になっています。調査の結果、若者の多くは丹波地域の利便性の高いところへ移住していること（域内移住）が明らかになりました。このことから、農村系集落が若者の流出を引き止められないことの原因を新たな視点で解明し、対応をはかる必要があります。



＜町型集落＞

町型集落は、公共公益施設と一体的に、地域の生活拠点を形成してきましたが、車社会の進展、大型商業施設の郊外立地、公共公益施設の移転・縮小などとともに、生業と生活の分離、居住条件の制約などによる住民の転出によって、一部の地域を除き、人口の減少と高齢化、空き家の増大などの空洞化の現象が見られます。このような状況の中で、多様な機能の集積や歴史的街並みなどの魅力を活かしていくために、自治会等を中心にした地域の主体力を形成していくことが課題と考えられます。



＜住宅集落＞

住宅集落は、近年形成された、比較的若い世代が住む新興住宅地です。今後、これらの人々が一斉に高齢化することも考えられ、また次世代の定住意識が高くないため、新住民の受け入れをはかっていくことが課題と考えられます。

3　集落活性化への基本的な視点

集落の現状や課題を踏まえるとき、次のような視点で集落活性化をめざすことが大切です。

＜自立的・持続的なまちづくり＞

集落活性化の基本的な目標は、自治の力を発揮した自立的運営のもと、世代交代や暮らしの安定化によって、集落を持続させるまちづくり（集落・校区づくり、まち・むらづくり）を進めることです。

＜住民生活の向上＞

そのために、集落機能を活性化させることにより、集落住民の日々の暮らしを安全・安心で豊かなものにしていくことが大切です。

＜若い世代の定住＞

集落活性化のためには、若い世代の定住を進め、住民の年齢バランスの回復と住民数・世帯数の安定化をはかることが大切です。

＜地域魅力＆コミュニティづくり＞

若い世代の集落への定着を進めるためには、就業と暮らしの両面での魅力づくりが大切です。そのためには、地域の魅力を軸に、集落と住民を結びつける仕組みを作っていくことが望まれます。

例：子ども時代からふるさとに親しむ「郷土への愛着アップ対策」、コミュニケーションのある「良好なコミュニティづくり」など、

＜独自のまちづくり主体の確立＞

自治会と連携しながら、世話役（役員）の継続性の確保、やる気のある住民の結集、若い世代や女性の参加など、住民の知恵と力を活用できる柔軟なまちづくり組織を形成することが望まれます。

＜「集落空間＋生活＋生業」への一体的な対応＞

丹波地域に伝統的な「集落空間・生活・生業」の一体的な再生に向けて、適度な宅地・住宅の供給や集落内細街路の改善をはじめ、産業・文化・コミュニティなどの要素を組み入れた集落づくりを進めていくことが望まれます。

4　集落活性化の方向

集落活性化に向けて、次のような方策を進めることが大切です。

①集落の年齢バランスの回復と住民数の安定

集落の活性化へ向けて、“地元主導”により、適切に新住民の受入れ（Ｉターン）を進めることが効果的と考えられます。また、集落で育った若者の定住を進めるために、幼少年時代に自然などと能動的に触れ合う体験（眺めるだけでなく、魚取り・虫取り等の体験＝ふるさととの心身の融合）などを通じて、若い世代の集落への愛着と誇りとを高めることが大切です。さらに、若い世代が集落に居住しやすい環境をつくるために、就業の場とともに、集落内での住宅・ 宅地の供給が必要です。

②住民の自立と主体力の発揮

集落の活性化のためには、集落内の和気あいあいとした“良好なコミュニティ”づくりを進めることが何よりも大切です。また、集落機能を支援するものとして「校区機能」を強化し、住民に効果的な“校区事業”などを進めるのがいいでしょう。また、若年層や女性の参加や世帯主に代わる代理出席を認める、テーマ別部会を設置するなど、自治会と連携した独自の“まちづくり組織”の編成が望まれます。このためにも、世代間・男女間の連携と次世代リーダーの育成を地域の重要な課題として位置づけることが大切です

③“集落産業”の継続・再生・創出

各地域の伝統的な集落産業（黒豆、小豆、茶、焼き物、檜皮葺、漢方薬、観光など）を現代の視点で再評価

し、活性化することが大切です。さらに、集落の資源を発見し、新たな産業を創出することが望まれます（例：町型集落のアミューズメント・ビジネス地区への転換、伝統＆現代イメージの農産物の生産・販売、食と農を活かした田園ツーリズム、化石を活かした自然学習ツーリズム）。このような、集落を支える多様な集落産業おこしが暮らしを豊かにし、集落への定住を促進するでしょう。

④集落への愛着アップ・システム（メンタルな定住魅力の継承・発展）

青少年のふるさとへの愛着を高め、定住意識へと結びつけるために、豊かな自然の中での能動的な遊びや体験を進める必要があります。また、大人と子どもが一緒になって、農村や町なかの景観を再評価し、保全・育成するとともに、祭りなどを通じて多世代が交流し、集落文化を高揚していくことが大切です。

⑤集落のその他の諸条件の改善

日役などの伝統的な仕組みを改善しながら、また都市住民や企業・団体などとの協働によって、集落の環境を整備していく必要があります。また、Ｉ＆Ｕターンを促進するために、緑条例による地区整備計画などによって、積極的な土地利用を進める必要があります。また、安心して暮らせるよう、相互扶助システムを整えるとともに、個人のライフスタイルや趣味などを尊重することも大切です。森林動物研究センターなどと連携して、獣害に強い集落づくりを進めることも大切です。

⑥「まち（校区・集落）づくりプラン」の作成

住民ぐるみの客観的なまちづくりの第一歩として、住民の合意に基づくまちづくりプランを作成することが大切です。そのためには、人材育成からスタートし、集落の現状や課題、集落の将来像などに関して話し合いながら、プランを確定していく必要があるでしょう。

⑦集落を超えた広域的な対応

集落活性化に必要なことがらの中には、若者に魅力ある産業やビジネス的農業の創出、過疎的地域における交通条件の改善、ゆとりを感じさせる文化的スポットの整備など、集落だけでは困難なものも多い。このような課題に対しては、行政や公益組織（財団法人・ＮＰＯ法人）などと協働して進めることが大切でしょう。

５　集落活性化の実現に向けて

集落活性化は、集落、行政、企業、NPO団体、都市住民などの協働によって進められるものであり、それぞれの主体のミッション（使命）とメリットを適切に引き出しながら、進める必要があります。そのためには、住民等を対象にした相談・助言、集落活性化を牽引する人材の育成、関係する主体間のコーディネート（調整、仲介）、集落活性化に関する情報収集や調査研究・提言などが不可欠であり、このような役割を担う場や組織を設けることも考えられます。

※『集落活性化の道すじ』（９月末印刷予定）をご希望の方は、（財）兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所までお問い合わせください。



利用案内

丹波の森公苑

■開園時間　午前９時から午後１０時まで

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
１２月３１日から１月１日まで
（ただし、アトリエの継続利用については月曜日も利用可）

■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ25分

・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ20分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分

・中国自動車道「滝野社IC」から、国道175号を福知山方面へ45分

◇JR利用
・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



ささやまの森公園

■開園時間　４・５・６・９月　９：00～18：00
７・８月　９：00～19：00
１０月～翌３月　９：00～17：00

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
１２月２９日から１月３日まで

■入園料・駐車料　無料

■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道372号を亀岡方面へ30分

・京都縦貫自動車道「亀岡IC」から、国道372号を篠山方面へ40分

◇JR利用
・JR福知山線「篠山口駅」下車後、神姫バス、京都交通バスを利用



年　報　２００８

編集・発行　（財）兵庫丹波の森協会

丹波の森公苑
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-72-2127（代表）　FAX 0795-72-0899
E-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp
URL　http://www.tanba-mori.or.jp

ささやまの森公園
〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷 511-1
TEL 079-557-0045　FAX 079-557-0201
E-mail csr@sasayamanomori.jp
URL　http://sasayamanomori.jp

発行年月日　平成２１年９月

印　　刷　㈱プリテック